

中国

教育旅行ガイド

大きな感動と心躍る体験が待つ、中国へ！



中華人民共和国国家観光局

中国が誇る 世界遺産

中国には現在、世界遺産に登録された文化史跡や自然景観が45ある。
その数は世界第2位を誇り、歴史文化・教育的価値の高い貴重な遺産ばかりだ。

遺産名

- 1 泰山
- 2 万里の長城
- 3 北京と瀋陽の明・清朝の皇宮群
- 4 莫高窟
- 5 秦の始皇陵
- 6 周口店の北京原人遺跡
- 7 黄山
- 8 九寨溝の溪谷の景観と歴史地域
- 9 黄龍の景観と歴史地域
- 10 武陵源の自然景観と歴史地域
- 11 承徳の避暑山荘と外八廟
- 12 曲阜の孔廟、孔林、孔府
- 13 武当山の古代建築物群
- 14 ラサのポタラ宮歴史地区
- 15 廬山国立公園
- 16 峨眉山と楽山大仏
- 17 麗江旧市街
- 18 古都平遥
- 19 蘇州古典園林
- 20 頤和園、北京の皇帝の庭園
- 21 天壇：北京の皇帝の廟壇
- 22 武夷山
- 23 大足石刻
- 24 青城山と都江堰水利(灌漑)施設
- 25 安徽南部の古村落-西遞・宏村
- 26 龍門石窟
- 27 明・清朝の皇帝陵墓群
- 28 雲岡石窟
- 29 雲南三江併流の保護地域群
- 30 古代高句麗王国の首都と古墳群
- 31 マカオ歴史地区
- 32 殷墟
- 33 四川ジャイアントパンダ保護区群
- 34 開平の望楼群と村落
- 35 中国南部カルスト
- 36 福建の土楼
- 37 三清山国立公園
- 38 五台山
- 39 河南登封の文化財“天地之中”
- 40 中国丹霞
- 41 杭州西湖の文化的景観
- 42 澄江の化石産地
- 43 上郡(ザナドゥ)の遺跡
- 44 紅河ハニ棚田群の文化的景観
- 45 新疆天山

※2014年3月現在

登録年

- | | |
|------|----------------|
| 複合遺産 | 1987 |
| 文化遺産 | 1987 |
| 文化遺産 | 1987/2004 |
| 文化遺産 | 1987 |
| 文化遺産 | 1987 |
| 文化遺産 | 1987 |
| 複合遺産 | 1990 |
| 自然遺産 | 1992 |
| 自然遺産 | 1992 |
| 自然遺産 | 1992 |
| 文化遺産 | 1994 |
| 文化遺産 | 1994 |
| 文化遺産 | 1994 |
| 文化遺産 | 1994/2000/2001 |
| 文化遺産 | 1996 |
| 複合遺産 | 1996 |
| 文化遺産 | 1997 |
| 文化遺産 | 1997 |
| 文化遺産 | 1997/2000 |
| 文化遺産 | 1998 |
| 文化遺産 | 1998 |
| 複合遺産 | 1999 |
| 文化遺産 | 1999 |
| 文化遺産 | 2000 |
| 文化遺産 | 2000 |
| 文化遺産 | 2000 |
| 文化遺産 | 2000/2003/2004 |
| 文化遺産 | 2001 |
| 自然遺産 | 2003 |
| 文化遺産 | 2004 |
| 文化遺産 | 2005 |
| 文化遺産 | 2006 |
| 自然遺産 | 2006 |
| 文化遺産 | 2007 |
| 自然遺産 | 2007 |
| 文化遺産 | 2008 |
| 自然遺産 | 2008 |
| 文化遺産 | 2009 |
| 文化遺産 | 2010 |
| 自然遺産 | 2010 |
| 文化遺産 | 2011 |
| 自然遺産 | 2012 |
| 文化遺産 | 2012 |
| 文化遺産 | 2013 |
| 自然遺産 | 2013 |

エリア

- | |
|-------------------------|
| 山東省 |
| 北京市 |
| 北京市/遼寧省 |
| 甘肅省 |
| 陝西省 |
| 北京市 |
| 安徽省 |
| 四川省 |
| 四川省 |
| 湖南省 |
| 河北省 |
| 山東省 |
| 湖北省 |
| チベット自治区 |
| 江西省 |
| 四川省 |
| 雲南省 |
| 山西省 |
| 江蘇省 |
| 北京市 |
| 北京市 |
| 福建省 |
| 重慶市 |
| 四川省 |
| 安徽省 |
| 河南省 |
| 北京市 |
| 山西省 |
| 雲南省 |
| 吉林省 |
| マカオ特別行政区 |
| 河南省 |
| 四川省 |
| 福建省 |
| 雲南省/貴州省/重慶市 |
| 福建省 |
| 江西省 |
| 山西省 |
| 河南省 |
| 貴州省/福建省/湖南省/広東省/江西省/浙江省 |
| 浙江省 |
| 雲南省 |
| 内モン古自治区 |
| 雲南省 |
| 新疆ウイグル自治区 |



兵馬俑坑(秦の始皇陵)



莫高窟



石林(中国南部カルスト)



龍門石窟



泰山

中国教育旅行ガイド
CONTENTS

中国が誇る世界遺産……………2

中国教育旅行おすすめポイント10……………4

中国教育旅行のための基本情報

MAP&アクセス・ビザ・サポート情報……………5

ゼネラルインフォメーション……………6

民族・文化・経済・中日交流……………8

教育システム……………10

実施校ケーススタディー

東洋美術学校 中国水墨画科……………11

テーマガイド……………12

おすすめ都市ガイド

北京／天津……………14

上海／蘇州……………15

杭州／広州……………16

西安……………17

シルクロード……………17

洛陽／少林寺……………18

王朝街道……………18

大連／瀋陽／青島／曲阜……………19

モデルコース

北京コース……………20

上海コース……………21

西安コース……………22

大連・青島コース……………23

●発行・監修●中華人民共和国国家観光局駐日本代表処

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-2 エアチャイナビル8F

TEL: 03-3591-8686

FAX: 03-3591-6886

2014年3月31日発行

編集制作: 株式会社トラベルジャーナル

編集協力: 田中扶美子

デザイン: 竹内デザイン

印刷所: 欧文印刷株式会社、TAKE-ONE

※本誌からの記事、写真などの無断転載を禁じます。

中国教育旅行

おすすめポイント



歴史、文化、自然、経済、友好交流に代表される、中国で教育旅行を実施する場合の魅力。そして安全や衛生、アクセスなどの条件面への信頼と安心を10のポイントに集約して紹介する。



北京の天安門広場。これまで多くの修学旅行生が訪れている

Point 1 三国志など数々の歴史舞台で学習

悠久の歴史を誇る中国には、貴重な歴史遺産が数え切れないほど残されている。万里の長城や秦始皇帝の兵馬俑坑など世界遺産に登録されている遺跡はもちろん、世界的に重要度の高い名所旧跡が国内に数多く点在しており、学習素材の宝庫となっている。授業で学んだ歴史の舞台を実際に体験できるのは、中国ならではの醍醐味だ。また、日本人にとって関わりが深い、中国の歴史への興味を深めることで、日本の歴史を再認識することもできる。



中国の仏教4大名山の一つで、世界遺産にも登録されている峨眉山

Point 4 未来へ向けて進む活気ある街を見る

2008年北京オリンピック、2010年上海万国博覧会と、世界的な祭典を成功させてきた中国は、現在も全国の主要都市で建設ラッシュが続く、街の風景が急速に変わっている。大都市の街なかを歩けば、世界で最も発展を遂げている中国のいまを感じることができる。真新しい高層ビルが立ち、最新の流行ファッション、国際ファストフードチェーンやモダンなレストランなどが並ぶ。

そこには日本と同じような新しい街並みがあり、また、日本よりさらに進んだ部分も垣間見られる。現代中国の生活スタイルや文化的な共通点を実感することができる。



2008年北京オリンピックのメイン会場となった、通称「鳥の巣」と呼ばれる国家スタジアム

Point 7 学校交流、ホームステイほか体験学習テーマが豊富

いまや教育旅行には欠かせないプログラムのひとつ、学校交流においても、北京、上海をはじめ多くの都市で友好交流校を指定。日本からの学生の訪問を積極的に受け入れている。

また、餃子作りや太極拳のレッスンなどの教育旅行にふさわしい体験学習プログラムや、現地校との文化やスポーツをテーマにした交流、一般家庭訪問、ホームステイを通じて、現地の人と触れ合う機会を提供している。

Point 8 安全性の確保と充実の通信手段

旅行を実施するうえで、安全性の確保が最重要であることは言うまでもない。中国では、常に問題点を改善し続けており、現在ではほかの外国諸国と比べても治安が良いと言われるほどになり、安全で快適な旅行を楽しむことができるようになった。

交通機関も発達しており、地下鉄が走る北京や上海では、班別の自主研修が実施されている。また通信面では、携帯電話が普及、高速インターネット対応のホテルも多くあり、日本とほとんど変わらない状況となっている。

Point 2 長い歴史が育んだ伝統文化が多彩

広大な国土と長い歴史を誇る中国は、その文化や民族も多種多様だ。漢民族とは異なる少数民族が、独自の文化を守りながら生活していて、各地でその文化と歴史を体験できる。

また、中国料理の賞味体験では、各地方で異なる風土や生活習慣、歴史が反映されているのを知り、中国食文化の起源を知るよい機会ともなる。京劇や舞踊などの伝統芸能、陶磁器、象牙、石玉製品などの手工芸品などに触れて、伝統文化の特徴を捉えることもできる。旅行を通じて、日本との比較対象となる素材も随所で発見できるだろう。

Point 5 世界経済を牽引する中国の熱気を感じる

名目GDP換算で世界2番目(2013年)と、この数十年で急速に成長を続ける中国経済。いまや経済大国ともいえる中国では、現在の日本にはない、経済的な活況が続く中国の勢いとパワーが感じられる。

特に大きく様変わりした首都・北京や、国際的な商業都市であり、対外貿易港である上海、広州などでは、工場見学などを通して、日本との経済交流の深さを知ることでもある。

Point 6 友好交流を歓迎する受け入れ態勢

日本からの教育旅行が多い省や市では、専門の委員会が設けられており、教育旅行の団体に対してさまざまな便宜が図れるように活動している。現地の旅行会社やホテルでは、日本語を話すスタッフを置くなど、日本人向けの対応にも慣れている。

1980年代以降、約2000校の日本の高等学校から、40万人以上の学生と先生が修学旅行で中国を訪れている。



現地では、人々が温かく迎えてくれる(恵安にて)

Point 9 優良な衛生状態と医療機関で安心

2003年に国家全体で衛生改善に取り組み、国際レベルの高い基準を設けたことにより、公共施設での清掃や消毒が徹底されるようになった。そのため、観光客の多い都市や観光地のレストラン、ホテルでは不安が解消された。また、飲料水はミネラルウォーターが普及しており、街なかで入手できるほか、ホテルに設置されていることも多い。

緊急時、病院などの医療施設でも最新設備が導入されており、万が一の場合にも対応できる。多くの日本人が現地で生活しているの、対応に慣れている場合も多い。

Point 3 スケールの大きい自然を体感する

世界第3位、日本の約26倍もの広大な国土を持つ中国。世界最高峰のチョモランマ(8848m)をはじめ、カルスト地形の代表ともいえる桂林、数千の石



神秘的な自然景観と色彩豊かな湖水のブルーが美しい九寨溝

峰がそびえ立つ武陵源、タクラマカン砂漠、熱帯雨林、草原など、変化に富んだ地理自然に恵まれている。

大スケールのユニークな自然は、地理学、地質学、動植物学など、多岐にわたる分野の研究素材としても価値が高く、政府は「環境保護政策」にも取り組んでいる。中国の雄大な自然に触れることで、環境について学ぶきっかけが生まれる。

Point 10 短時間でできる効率的な旅行が可能

日数が限られる修学旅行では、短時間でスムーズなアクセスが重要なポイントだ。日本と中国を結ぶ直行便も数多く運航されており、東京・大阪をはじめ全国主要都市から、乗り継ぎなしで中国各地へ飛ぶことができる。特に、主要都市間では1日に数便が運航しており、スケジュールが組み立てやすい。

主な都市への所要時間は、東京/北京約4時間、大阪/北京約3時間30分、東京/上海約3時間30分、大阪/上海約2時間30分、東京/広州約5時間30分など。また、各都市には現代的な機能を備えた空港が完備しており、利便性も向上している。

[基本情報]

MAP・アクセスガイド

まずは、お隣の国・中国へのアクセス方法、主要都市の位置など、地図をもとにその全体像をつかんでみよう。



日本からのアクセス

日本から中国へは、中国国際航空、中国南方航空などの中国系航空会社をはじめ、日本航空、全日空、その他外国系航空会社など、多くの航空便が就航している。2014年3月現在、日本の19都市から中国20都市へアクセスできる。飛行時間も1時間30分(福岡／上海)～5時間30分(東京／広州)なので、出発日・帰国日を含め、十分な研修時間が確保できるのも魅力だ。

●中日間の航空便が運航している都市 (台湾線を除く)

日本	札幌、仙台、茨城、新潟、東京(成田／羽田)、静岡、名古屋(中部)、富山、小松、大阪(関西)、岡山、広島、高松、松山、福岡、佐賀、長崎、鹿児島、沖縄
中国	ハルビン、長春、瀋陽、大連、北京、天津、済南、煙台、青島、上海(浦東／虹橋)、南京、無錫、杭州、福州、廈門、広州、重慶、成都、香港、マカオ

ビザについて

一般旅券(パスポート)を所持する日本人は、中国へ観光・商用・親族知人訪問あるいは通過の目的で入国する場合、滞在日数が入国した日から15日以内であればビザが免除され、外国人向けに開放された空港・港から入国できる。そのため、一般的な修学旅行や研修旅行では、ノービザでの入国が可能だ。

パスポートの残存有効期間は、利用する航空会社によって対応が異なることもあるので、渡航時点で6カ月以上の残存有効期間があるほうが望ましい。

また、観光であっても滞在が15日間を超える場合や、留学・就労・定住・取材の目的で訪中する場合は、事前にビザを申請しなければならない。ホームステイなどでの長期滞在、語学留学などで中国に滞在する場合は、注意が必要だ。

なお、最新の状況については、中華人民共和国駐日本国大使館ホームページ(<http://www.china-embassy.or.jp/jpn/>)で確認できる。

教育旅行サポート情報

中国では、日本からの教育旅行受け入れのため、「中国接待日本青少年修学旅行指導委員会」を設け、ハード、ソフト両面の整備をはじめ、万全の体制で臨んでいる。

また、中国各地の教育旅行による交流事業を拡大するため、主な省・市には「地方指導委員会」を設置。これは各地観光局をはじめ教育委員会、公安、交通(民航、鉄道)関係機関を主な会員としており、交流校の指定や教育素材の整備、教育旅行マニュアルの発行などの活動をそれぞれ行っている。地方指導委員会は、北京、上海、天津、陝西、江蘇、浙江、遼寧、山東、河南、広東の省・市に設置されている。



中国・上海のゲートウェイでもある浦東

[基本情報]

ゼネラルインフォメーション

北京、上海、西安などの都市を中心に、気候、時差、人口、民族、言語、通貨、通信、交通機関ほか旅行に関する基礎情報を紹介する。

■国名 中華人民共和国

■首都 北京

■人口 13億5404万人(2013年現在)

■民族

総人口の約92%を漢民族が占め、その他の少数民族、チワン族、回族、ウイグル族、イ族、チベット族、ミャオ族、蒙古族、満州族、朝鮮族など56の民族から構成されている。

■宗教

国民の信仰は自由で、仏教(チベット仏教含む)、道教、キリスト教、イスラム教などが存在する。

■地理

国土面積は960万km²。日本の国土の約26倍あり、南北約5200km、東西約5500kmに広がっている。西高東低の地勢で、長江と黄河は世界でも有数の大河だ。

■気候

大陸性季節風の気候帯に属している。国土が南から北まで50度近い緯度にまたがっているため、各地の気候は複雑で多様だ。ほとんどの地域は温帯にあり、南方の一部は熱帯と亜熱帯にある。北部は寒帯に近い。



リゾート地として人気を集めている海南島

①華北：梅雨がなく、夏が長い。湿度も低く一年を通じて好天が続くことが多い。

②東北：夏は涼しく、湿度も低いので過ごしやすい。冬はマイナス30℃まで下がる。

③華中：西日本に似て温潤。雨季もあり、年間を通じて湿度が高い。

④華南：夏はもちろん、冬も高温多湿の南国的な気候で雨が多い。

⑤内陸：気温の高低差が大きくないので、過ごしやすい。

⑥砂漠：降水量が少なく、常に乾燥している。

■時差

日本との時差はマイナス1時間。日本が正午の場合、中国は午前11時と1時間遅れる。国土は広いがエリア別に時差やサマータイムはなく、わかりやすい。

■言語

公用語は中国語(漢語)だが、各民族は異なる言語を持っており、北京語、上海語、

広東語など、各地方によってさまざまな方言が使用されている。通常は「普通語」と呼ばれる標準語によって交流をしている。また、街なかで見かける文字は、簡略化された簡体字で表示され、簡単なものなら理解できる。その他、大都市のホテルや有名観光地以外では、英語は通用しないことも多い。

■通貨・両替

通貨単位は人民元(略号RMB)。補助通貨単位は、角と分(1元=10角=100分)。日本円との交換レートは約17円(2014年3月現在)。紙幣は、100元、50元、20元、10元、5元、2元、1元、5角、2角、1角。硬貨は1元、5角、1角、5分、2分、1分となっている。紙幣は新旧のデザインが混在している。

円から元への両替は、中国銀行の国内各支店、国際空港、ホテル、外国人向けみやげ物店などで可能。ただし、元から円への再両替ができるのは銀行の各支店が空港出発ロビーのみで、両替時にもう控えの紙が必要となる。日本では空港内の一部の銀行で取り扱っている。なお、トラベラーズ・チェックは利用できない店も多いので、現金のほうが無難だ。

■チップ

高級ホテルなどのサービスを除いて、チップの習慣はない。

■通信

現在、北京や上海では、携帯電話、街なかやホテルでのインターネットが普及しており、国内や日本との連絡が取りやすくなっている。

郵便は、日本から距離が近いこともあり、手紙が5～10日間くらいで届く。郵便のイメージカラーはグリーンが使用されている。国際電話はホテルの部屋、ビジネスセンター、ICカード式の電話ボックスからかけられる。

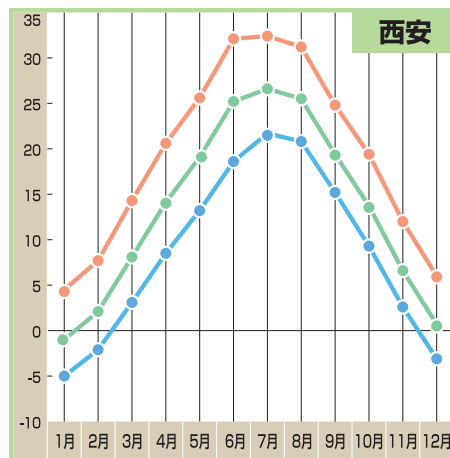
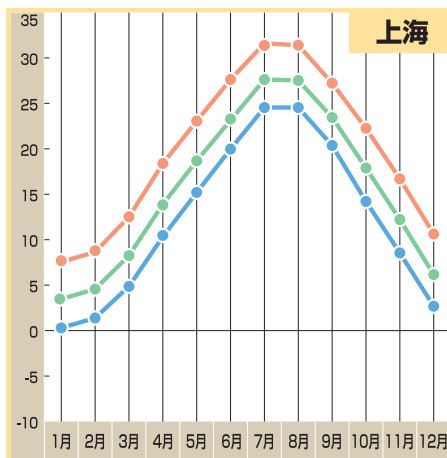
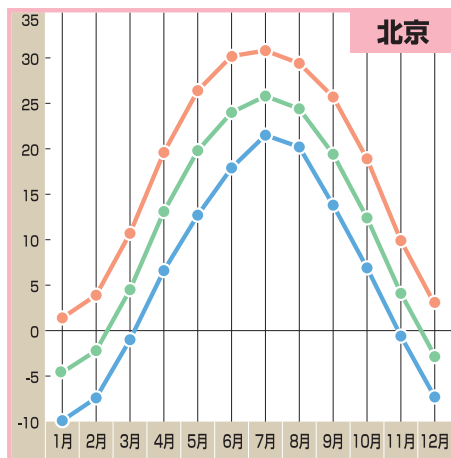
■交通機関

空港から市内へは、リムジンバス、タクシー、公共バスが出ていて、アクセスに不便はない。



新疆ウイグル自治区に広がるタクラマカン砂漠

●主要都市年間平均気温(℃)



市内では、市バスやメーター付きのタクシーが利用できるほか、北京、天津、上海、広州などの大都市では、外国人旅行者でも利用しやすい地下鉄が整備されている。上海では、浦東国際空港と地下鉄2号線「龍陽路」駅の全長33kmを7分半で結ぶ、リニアモーターカーも走っている。



北京市街は、地下鉄網が充実している

このほか、観光地では、昔ながらの三輪タクシーや三輪車も走っているが、徐々に減りつつある。

なお、北京や上海は車の増加によって渋滞が年々激しくなっており、車で移動する場合は時間に余裕を見て行動することが必要だ。

■祝祭日

西暦と旧暦を合わせており、春節のように毎年日付が異なるものがある。

1月1日	元旦
2月19日	春節(旧暦の1月1日) ※2015年
3月8日	三八国際婦女節
5月1日	五一国際労働節
5月4日	五四中国青年節
6月1日	六一国際児童節
8月1日	中国人民解放軍健軍節
10月1日	国慶節

■衛生・飲料水

北京や上海、西安などの有名観光都市では、市政府による衛生対策が強化されたことにより、レストランでは消毒が義務づけられたほか、街なかには案内表示のある公衆トイレも設置され、ほぼ問題ない状態となっている。

一部のホテル以外では、水道の水は飲めないため、ホテルに用意されているポットのお湯や電気湯沸かし器で沸かしたお湯を飲むのがいい。また、ペットボトル入りのミネラルウォーターが簡単に手に入る。北京や上海などの大都市にはコンビニエンスストアもある。

■健康管理

短期間の日程でも、国が変われば気候や食事などさまざまな環境や条件が変わるので、体調管理はしっかりとしたい。念のため、頭痛薬や風邪薬、下痢止め、抗生物質、消毒液などの常備薬は持参したほうがいい。また、空気が乾燥する黄河流域の北側と西側(北京、西安など)は空気が乾燥しているので、喉の痛みには気をつけたい。砂埃のあるような場所を訪れる場合には、マスクも持参したい。

■食事・料理

中国は広大な領土とさまざまな民族がいるため、料理の種類も数多い。日本人が口にしない食材も使われている。そのうちよく知られているのは4大料理で、北京、上海、四川、

広東の各地方料理と、気軽に食べられる點心がある。都市ではモダンなレストランがオープンしており、西洋的なスタイルで中国料理を出すところも増えている。

●**北京料理**：北方料理の総称で、黄河流域から北側の地域で作られる料理を指す。北京料理を代表するのは「北京ダック」で、専用の窯で焼き上げたアヒルの皮を削ぎ、特製味噌、長ネギと一緒に薄餅で巻いて食べる。また北京では羊肉料理も食べられている。このほか、うどん、肉まん、餃子などの粉を使った料理がある。

●**上海料理**：温暖で食材が豊富な江南地方の料理の総称で、長江流域の料理全体を指す。甘みのある濃厚な味付けが特徴で、あんかけ風のものが多い。また、淡水魚やカニなどの魚介類を使った料理が知られており、「上海ガニ」が有名だ。

●**四川料理**：内陸部の西南地方の料理で、酸味と辛味が特徴。暑くて蒸す盆地の気候を反映した料理になっている。「麻婆豆腐」、「棒棒鶏」、「担々麵」は、日本人にも親しみやすいが、かなり辛い。



上海料理の中でも人気の高い上海ガニ



日本でもおなじみになった、山西省名物の刀削麵



上海を走るリニアモーターカー

●**広東料理**：華南地方の料理で、世界中のレストランで出されているのが広東の味だ。調理法が繊細で味付けもさっぱり、油も控えめで、ダシなどのベースを調理法に取り入れているので、日本人の口に合う。中国全国にも広東料理店がある。

●**點心**：中国のファストフードで、もち米や小麦粉などを使用して作るものが多い。チャーハン、焼きそば、杏仁豆腐などはこれに属する。特に有名な飲茶は、焼売や肉団子、エビ餃子など1000種類はあると言われる。

●**各国料理**：現在の都市部では、日本料理をはじめ、フランスやイタリアなどの西洋料理、また世界各国の料理が味わえる。ハンバーガーやフライドチキンなどの国際ファストフードチェーンも進出している。

■お茶・カフェ

中国といえば、お茶が日常的に飲まれているが、街なかにもお茶を楽しめる茶芸館がある。その他、北京や上海などでは、スターバックスコーヒーのようなコーヒー店も新しいビルや観光地にオープンしており、気軽に休憩ができるようになっている。



中国では、芸術的ともいえる茶芸を目にする事も多い

■みやげ物

値段も手ごろなお茶は種類も豊富で、最も人気が高い。このほか、漢方薬、陶器、掛け軸、印鑑、シルク製品、文房四宝などがある。革製品や刺繍製品も日本で購入するよりも安く手に入る。なお、街なかのみやげ物街にある店では、値切り交渉が日常となっている。

[基本情報]

民族・文化・経済・中日交流

教育旅行には欠かせない学習素材の中心的テーマとなる、中国の民族、文化、経済、中日交流史などをまとめて紹介する。
※年表・記述については、下記と異なる解釈や見解もあることをご了承ください。

■行政・民族

行政単位は、大きく3つに分かれている。北京市、上海市、天津市、重慶市の4直轄市のほか、河北省、江蘇省、広東省などの23省、チベットや広西チワン族などの5自治区に分けられ、これが日本の都道府県にあたる。その下に市と県があり、日本の市町村と考えればよい。さらに、その下には鎮、郷などの最小行政単位もある。また、香港とマカオは特別行政区として位置付けられている。

人口の約92%は漢民族が占めているが、55の少数民族があり、その総数は約1億450万人。雲南省、湖南省に住むチワン族は、中国最大規模。次いで満州族、新疆ウイグル自治区や河北省に住む回族など、それぞれに独自の文化を持って生活。またどの民族に属するかを申告している。



正装したミャオ(苗)族の女性

■文化

●思想

中国の思想が最も花開いたのは春秋戦国時代(紀元前770～同221年)と言われ、代表的なものとして、諸子百家や四書五経、孔子、老子、孟子、孫子など、現在でも国境を越えて学ばれている思想家が多く活躍した時代である。日本でも「温故知新、蛇足」等の言葉や、「年功序列、親孝行」といった考え方は生活の中で深く浸透しているが、これらのほとんどが春秋戦国時代に起源を持つ思想の影響を色濃く受けている。

また官吏(官僚)を登用する際、科挙という学科技験を行ったが、その時の基準は法律の知識の有無ではなく、儒教の知識や詩作の上手が重要視されていたことなど、知識人の間で思想が広く浸透していった。

●戯劇・古典音楽・伝統工芸

京劇として親しまれている戯劇は、清の時代以降、農村部では各地の方言や民俗に根差した地方劇が発展。全国で500種類にも達する地方劇が誕生していたという。中央の崑曲は、一流の文人が戯曲作品を制作。また面白い芝居が「地方劇」として発展し、『秦香蓮』や『白蛇伝』などの演目が人気だった。現在の京劇は、18世紀以降北京で各地方劇が融合して成立。中国を代表する伝統演劇となっている。

伝統音楽では宮廷で奏でられてきた雅楽と



青海省のチベット芸術の里・レゴン地区に伝わるタンカ

西洋の影響を受けてきた俗楽があり、古琴や二胡などをはじめとする楽器が用いられる。伝統工芸は、剪紙、七宝焼、陶芸、刺繍、織物、山水画、書道、年画などが発展した。

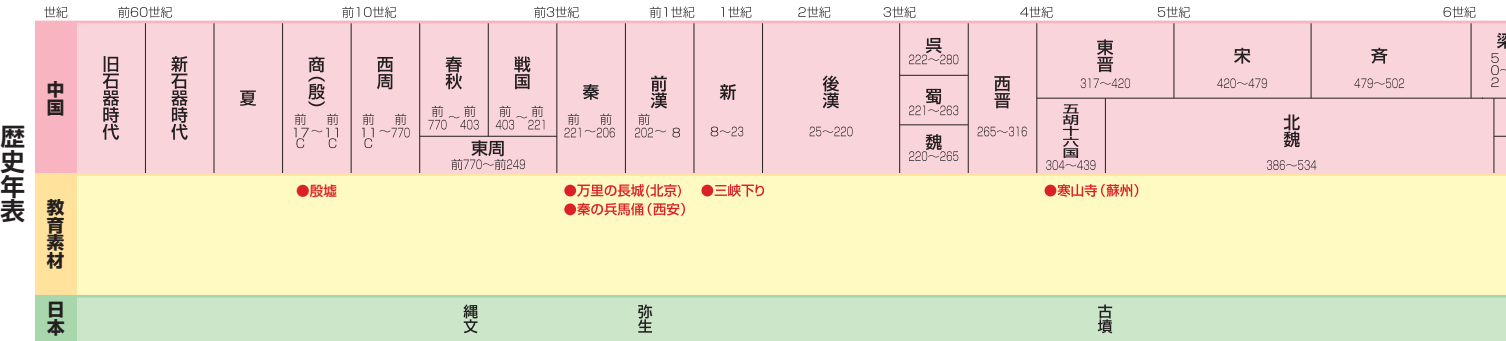
■経済の動き

国際社会の中で最も経済成長を遂げている国として注目されているばかりか、日本経済も中国経済の発展に支えられている部分が多い。中国と日本の経済関係は、中国のWTO加盟を契機として一段と発展し、現在では、双方にとって重要な貿易相手国となっている。また、日本企業の中国進出も積極的に行われている。

日本の対中国貿易は2012年度の輸出が11兆

●少数民族一覧

民族名	主な居住地	民族名	主な居住地	民族名	主な居住地
アチャン(阿昌)族	雲南	タジク(塔吉克)族	新疆	ブミ(普米)族	雲南
イ(彝)族	雲南・四川・貴州	タタル(塔塔尔)族	新疆	ペー(白)族	雲南
ウイグル(维吾尔)族	新疆	ダフル(达斡尔)族	内蒙古・黒竜江	ホジェン(赫哲)族	黒竜江
ウズベク(乌孜别克)族	新疆	チベット(藏)族	西藏・四川・青海・甘肃・雲南	マオナン(毛南)族	広西
エヴェンキ(鄂温克)族	内蒙古・黒竜江	チャン(羌)族	四川	満州族	遼寧・黒竜江・吉林・河北・内蒙古・北京
オロチョン(鄂伦春)族	内蒙古・黒竜江	朝鮮族	吉林・黒竜江・遼寧	ミャオ(苗)族	貴州・雲南・湖南・四川・広西・湖北
回族	寧夏回族自治区をはじめほぼ中国全土	チワン(壮)族	広西・雲南・広東・貴州・湖南	メンバ(门巴)族	西藏
カオシャン(高山)族	台湾・福建	トウチャ(土家)族	湖北・湖南・四川	蒙古族	内蒙古・遼寧・新疆・黒竜江・吉林・青海・河北・河南
カザフ(哈萨克)族	新疆	トウ(土)族	青海	モーラオ(仫佬)族	広西
キルギス(柯尔克孜)族	新疆	トールン(独龙族)族	雲南	ヤオ(瑶)族	広西・湖南・雲南・広東・貴州
コーラオ(仡佬)族	貴州	トンシャン(东乡)族	甘肃	ユイグー(裕古)族	甘肃
サラ(撒拉)族	青海・甘肃	トン(侗)族	貴州・湖南・広西	ラフ(拉伧)族	雲南
ジーヌオ(基诺)族	雲南	ナシ(纳西)族	雲南	リス(傣族)族	雲南
シェ(畲)族	福建・浙江	ヌー(怒)族	雲南	リー(黎)族	海南
シボ(锡伯)族	遼寧・新疆・黒竜江	パオアン(保安)族	甘肃	ローバ(珞巴)族	西藏
シュイ(水)族	貴州	ハニ(哈尼)族	雲南	ロシア(俄罗斯)族	新疆
ジンポー(景颇)族	雲南	ブイ(布依)族	貴州	ワー(佤)族	雲南
ジン(京)族	広西	ブーラン(布朗)族	雲南		
タイ(傣)族	雲南				



3439億円と、前年度に続いてマイナスを記録する一方、輸入は15兆3451億円で3年連続のプラスとなった。中国からの輸入品としては、半導体等電子部品、通信機、自動車などが2桁台の伸びを示している。

2013年の中国の名目GDPは9兆1850億USDと、名目GDP換算で世界2番目に大きい。1978年に改革開放路線を採用、中国政府は計画経済から市場指向型の経済への改革を続けてきており、数億の国民が貧困から脱することとなった。中国政府は農業をかつての人民公社から生産責任制に変更、産業における地方政府の権限を増やし、サービス業や軽工業における小規模企業を許可し、外国との貿易や投資を増やすために経済を開放。その結果、中国経済は1978年の10倍にまで成長を遂げている。一方、都市と農村の経済格差の拡大、金融、エネルギー、社会保障、環境問題等多くの課題も抱えており、中国政府が中心となってこうした課題に取り組んでいる。



中国経済の著しい発展を象徴する上海金融区

■中日交流史

●源流と関連した時代

中日交流の源流として記録されているのは、倭(日本)が初めて中国史書に登場する『後漢書東夷伝』であり、紀元前後には「倭人百余国に分かれ、その一部は漢の楽浪郡(現在の平壤付近)と交渉を持った」と記述されている。さらに517年に「光武帝が倭の使いに金印を授与した」こと、107年に「倭国王師(帥)升等が生口(奴隷)160人を献じた」ことも記されている。この『後漢書東夷伝』の「倭」についての記述は、時間の経過とともに「倭人」「倭」「倭又は倭国」

へと変化した。

日本への漢字の伝来は、前3世紀末まで遡るとされ、倭人はすでに西暦前から漢字に訓読を与え、あるいは漢字の音を真名として利用し、それらを使って人名などを表記していたという説がある。

誕生期の「中日交流」は日本からの接触や朝貢が主だったが、時代の経過とともに、「交流」が拡大していった。

魏の史書『東夷伝倭人条』、通称『魏志倭人伝』には、2000文字ばかりの文章の中に、2世紀後半から3世紀半ばにかけての倭国の様子(位置、首都、官職名、地方国名、風俗・風習、出来事など)がかなり詳しく記述されており、「互いに使者を派遣する」の記述と併せ、活発に交流が行われていたことがわかっている。また、倭国は、首都を邪馬台国とする卑弥呼女王の国であったこと、官の名が「伊支馬」、副の名が「彌馬升」、次の名が「彌馬獲支」と「奴佳提」であったことの記述によって日本史の解明にもつながっている。なお、『魏志倭人伝』は、宋代に成立した。

7世紀初めから9世紀末、政治と文化が栄えた隋と唐の時代には、日本から遣隋使、遣唐使として多くの留学生や留学僧が中国へ渡り、先進文化や仏教を持ち帰り、日本に伝えた。唐で没した阿倍仲麻呂や、仏教伝達に貢献した鑑真和尚などが知られている。

●戦後から現在へ

唐代以降、中日両国は活発な交流を進める一方で、19世紀後半から約50年に及ぶ対戦関係にあった。第2次大戦以降しばらく国交が途絶えていた両国は、1972年9月に「中日共同声明」に署名したことにより、国交が正常化した。1978年には「中日平和友好条約」が締結され、1998年には中国から初の国家元首として江沢民国家主席が来日し、「平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する中日共同宣言」が発表された。

国交正常化以後は、多方面にわたり交流が発展している。国交正常化25周年にあたる1997



人気のパンダは、中日友好親善大使的な役割も担っている

年には、中日双方の高校生がペアを組む「中日友好都市ジュニア卓球大会」の北京開催。中華人民共和国建国35周年(1984年)には日本から3000人の青年が中国に招かれ、青年同士の大交流が行われた。2002年には、中日国交正常化30周年記念行事として、東京では5000人訪日交流大会、北京では1万人訪中交流大会などが行われた。

その後、国交正常化35周年にあたる2007年には、中国国内および日本国内で開催された計328件のイベントが認定行事として実施されるなど、交流はますます拡大。現在では、青少年交流、地方間交流、文化・スポーツ交流、草の根交流、観光交流、経済交流、被災地支援などを中心に、両国間では多層的な友好交流がますます盛んに行われている。

■友好姉妹関係

日本と中国との友好都市関係は、1973年の神戸市と天津市の提携以来、2013年9月30日現在353件(日本側334団体、中国側262団体)に達している。提携の相手先としては、アメリカに次いで第2位となっている。右記は日本の都道府県と提携を結んでいる中国の省や市。このほか、市区町村レベルで数多くの友好都市・姉妹都市提携が結ばれているので、各市区町村のホームページなどで調べてみたい。

自治体名称	提携自治体名
北海道	黒竜江省
青森県	大連市
宮城県	吉林省
秋田県	甘肅省
山形県	黒竜江省
栃木県	浙江省
埼玉県	山西省
東京都	北京市
神奈川県	遼寧省
新潟県	黒竜江省
富山県	遼寧省
福井県	浙江省
山梨県	四川省
長野県	河北省
岐阜県	河北省
静岡県	浙江省
愛知県	江蘇省
三重県	河南省
滋賀県	湖南省
京都府	陝西省
大阪府	上海市
兵庫県	広東省、海南省
奈良県	陝西省
和歌山県	山東省
鳥取県	河北省
島根県	寧夏回族自治区
岡山県	江西省
広島県	四川省
山口県	山東省
徳島県	湖南省
香川県	陝西省
高知県	安徽省
福岡県	江蘇省
長崎県	福建省
熊本県	広西壮族自治区
沖縄県	福建省

※2013年9月30日現在

紀	7世紀		8世紀		9世紀		10世紀		11世紀		12世紀		13世紀		14世紀		15世紀		16世紀		17世紀		18世紀		19世紀		20世紀		21世紀	
	梁 502~557	陳 557~589	隋 581~618	唐 618~907	五代十国 907~979	北宋 960~1127	西夏 1038~1227	南宋 1127~1279	元 1271~1368	明 1368~1644	清 1644~1912	中華民國 1912~1949	中華人民共和國 1949~																	
	東魏北齊 534~577													遼 916~1125	金 1115~1234	モンゴル 1206~1271														
	西魏北周 535~581																													
	●華清池 (西安) ●大雁塔 (西安) ●六和塔 (杭州) ●虎丘 (蘇州) ●西湖 (杭州) ●獅子林 (蘇州) ●故宮 (北京) ●天壇公園 (北京) ●明の十三陵 (北京) ●頤和園 (北京) ●豫園 (上海) ●拙政園 (蘇州) ●玉仏寺 (上海)																													
	飛鳥	奈良 710~794		平安 794~1192		鎌倉 1192~1333		室町 1338~1573		桃安山土 1573~1603		江戸 1603~1868		明治 1868~1912		大正 1912~1926		昭和 1926~1989		平成 1989~										

[基本情報]

中国の教育システム

中国における現在の教育は、1985年の「教育改革法」に基づいて施行されている。北京市、上海市など12省・直轄市を中心にして、全国的に義務教育の完全普及が推進されている。



アジア最大で、世界で3番目の規模を誇る「中国国家図書館」

中国の教育制度

初・中等教育は6・3・3制(小学校6年、初級中学3年、高級中学3年)が実施されており、小学6年・初級中学3年の9年間は義務教育となっている。システマ的には日本と変わらないため、同じ立場の生徒同士の交流も図りやすいだろう。学期は、9月1日から翌年7月末までの1学年2学期制。完全週5日制。

■就学前教育

3～6歳児対象の幼稚園と3歳児未満対象の託児所がある。一般に保育・託児時間の長いのが特徴で、月曜の朝から土曜の夕方まで子

供を預かる場所も少なくない。3～6歳児の就学前教育機関への在籍率は年々高くなっている。

■初等教育

小学校は満6歳入学を基本としているが、7歳入学を実施しているところもあり、就業年限は5年制と6年制が併設した格好となっている。各科目の教科書は小中学校とも全国統一。また、労働の時間も4年生以上で週1時限設置している。中国には漢民族のほかにも多くの少数民族がいるため、55の少数民族居住区では、国語の代わりに当該民族の言語を、外国語の代わりに漢語を教えている。

■中等教育

中学は「初級」と「高級」(日本の高校にあたる)に分かれている。3・3制を採用しているところが主となっているが、3・2制のところもある。初級中学は義務教育となっており、選抜試験は廃止傾向にある。

高級中学への入学に際しては、各省・自治区・直轄市で実施される統一入試によって選抜。初級中学では年間2週間、高級中学では年間4週間の労働技術教育の時間が設けられているのが特徴。また普通教育課程の中学以外に、職業技術教育を主目的とする中等学校として、中等専門学校、技術労働者学校、農業中学、各種の職業中学もある。

■高等教育

高等教育にあたる総合大学および単科大学には、本科と呼ばれる4～5年制の課程(医学系など一部では6～7年制)と単科と呼ばれる2～3年制の課程がある。単科課程だけを置く独立した専科大学や短期職業大学と呼ばれるものもある。総合大学は少なく、大多数は単科大学。大学のうち、約6割がIT関連、理工、医薬、農林関係で占められている。

■大学受験

毎年大学に入学するための「全国統一試験」が実施され、成績の優秀なものから希望大学に進学することができる。各高等教育機関は入試の成績に、高級中学の成績や活動記録を記した内申書を考慮して、合格者を決定する。毎年7月上旬に実施。試験科目は「3+2」方式と「3+X」方式の2種類あり、上海のみ毎年独自の試験を実施。受験期間は3～4日間で、地域によって差がある。

●中国の学校制度表

学年	年齢	段階	学校				
-	～6	就学前教育	幼稚園				
1	6～7	初等教育	↑ 義務教育 ↓	小学校			
2	8						
3	9						
4	10						
5	11						
6	11～12	中等教育		初級中学			
7	12～13						
8	14						
9	15						
10	15～16						
11	17	高等教育	高級中学(高校)		中等専門 学校	技術労働者 学校	農業・ 職業学校
12	18		大学 (本科・ 専攻学科)	短期 職業大学			
13	19						
14	20						
15	21						
16	21～22						
-	22～23						
-	24						
-	25～						



多数のオリンピック選手を輩出してきた体育系の学校(右)や、日本語教育を行っている学校(下)など、個性的かつレベルの高い教育機関も多い



実施校ケーススタディー

中国教育旅行の優位性や魅力、教育的価値について、実際に現地を訪問している学校はどのように感じているのだろうか？
中国各地への研修旅行を続けている専門学校の先生に話を聞いた。

東洋美術学校 中国水墨画科

●美術交流旅行 厦門・泉州・惠安・漳州8日間

インタビュー—— 椎名三知子先生

参加者の年齢・訪問地も幅広く 懐の深い中国ならではの旅

当校の交流旅行は、不定期で希望者を募集して実施。参加者は、当校の学生をはじめ、水墨画教室に通う一般の方など、年齢を問わず水墨画を学ぶ人たちです。下は20歳から上は80歳ぐらいの方まで、幅広い年齢の方が、現地で有名な水墨画にも描かれている本物の自然に触れ、その場で写生をしたり、現地の方々と触れ合えるプログラムとなっています。

2003年は上海・浙江省(杭州・温州)、05年は青海省(西寧・貴徳)・甘肅省(蘭州)、06年は雲南省(昆明・麗江・シャングリラ)、07年は広西チワン族自治区(桂林・陽朔・龍脊)、08年は北京・山東省(曲阜・泰山)と、これまで中国のさまざまなエリアへ出かけています。

どこへ行っても、悠久の時の流れを感じさせる史跡や静かで美しい風景を前に、のんびり写生をする時間を設けるようにしています。また、現地の美術大学の宿舎に宿泊しながら、水墨画の指導を受けたこともあります。

歴史や自然に触れ、のんびり写生 現地を知り、さらなる相互交流を

2012年は、福建省の厦門・泉州・惠安・漳州をめぐるしました。今回は、7泊とも惠安にある聚龍小鎮山湖会所というホテルに滞在。あわただしい移動もなく、中国南部のリゾートエリア内ということもあって、のんびりとした研修旅行になったと思います。その分、貴重な世界遺産や史跡、自然の中で、思う存分写生をする時間をとることができました。

現地での最終日には、中国美術学院の教授による講評会を実施。日本から持参した絵画や旅行中に描いた絵画を目の前で講評していただきました。さらに、それらの作品は聚龍美術館に所蔵され、参加者はそれぞれ所蔵証書を受け取りました。中国絵画を学ぶ者として、とても貴重な経験となったのではないのでしょうか。

惠安では、「惠安女」と呼ばれる方々に温かく迎えられ、記念撮影をしたり、交流の時間を持つことができました。現地では、働き手として女性が大活躍しているようで、さまざまな場所で女性がたくましく働く姿を目にしました。海辺に位置しているため、食事は海鮮類が豊富で必ずスープが付いてくるなど、日本人の口に合うものが多く、皆さん「おいしい」と言っていました。

“海のシルクロード”の起点である泉州や“千年古橋”と言われる宋代の安平橋、世界遺産の土楼、リゾート感あふれるコロンス島など、観光的な見どころも満載。地元の画材店やスーパーでの買い物も楽しみ、有意義な研修旅行となりました。

当校では、1984年から中国の美術学院と友好関係を結び、以来、中国と日本、相互の交流活動を絶やさず続けています。研修旅行に限らず、今後も両国の交流の場を広げていきたいと思っています。

東洋美術学校 中国水墨画科

1984年、北京の中央美術学院附属中等美術学校、後に中央美術学院と友好関係を結び、教師・研修教員・学生交換、交換展覧会などの交流活動を行う。88年、前身となる「中国画科」を設立。96年に学科名を変更、専門学校唯一の「中国水墨画科」としてスペシャリストを輩出。中央美術学院との学術交流も継続しており、毎年、学院より水墨画指導教授を招聘している。2004年からは、学科修了後、中央美術学院3年次への編入学(留学)提携を開始、現在に至る。



現地で描いた作品を聚龍美術館へ。所蔵証書を手にする椎名先生(左)

宋代の安平橋。ここでも写生を楽しんだ



惠安女の皆さんと記念撮影

●日程表

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京 厦門 惠安	午前 午後	航空機 専用バス	空路、厦門へ 厦門着後、惠安へ移動 ＜夕食：山湖会所＞ (1～7日目まで惠安泊・聚龍小鎮山湖会所)
2	泉州	午前 午後	専用バス	泉州古城、開元寺、海交館見学 ＜昼食：泉州＞ 泉州の画材店で画材購入 清源山見学 ＜夕食：在水一方惠安特色小吃＞
3	惠安	午前 午後	専用バス	惠安で写生 ＜昼食：惠安＞ 安平橋で写生 ＜夕食：聚龍郷土料理＞
4	漳州	午前 午後	専用バス	南靖土楼を見学 ＜昼食：客家料理＞ 土楼で写生 ＜夕食：山湖会所＞
5	惠安	午前 午後	専用バス	聚龍小鎮で美術館、廊橋听泉茶舍、小鎮書屋、聚龍外国語学校幼稚園、スポーツセンター、テニス会館、ヘルスセンターなどを見学 ＜昼食：山湖会所＞ 聚龍小鎮で写生 ＜夕食：山湖会所＞
6	厦門	午前 午後	専用バス	コロンス島見学 ＜昼食：厦門料理＞ 厦門の海岸を遊覧 ＜夕食：汾陽酒店＞
7	惠安	午前 夕方	専用バス	聚龍小鎮で写生、スーパーで買い物 ＜昼食：山湖会所＞ 中国美術学院任道斌教授による講評会 聚龍美術館所蔵証書の授与 ＜夕食：山湖会所＞
8	惠安 厦門 東京	午後 夜	専用バス 航空機	聚龍小鎮を出発、厦門高崎空港へ 空路、東京へ

(2012年3月実施)

テーマガイド

中国教育旅行のテーマは、歴史・文化は言うまでもなく、自然学習や平和学習、学校交流、体験学習など、日本の学校が望むほとんどがそろっている。数あるテーマの中から、近年人気の「学校交流」「体験学習」に絞って見ていこう。

個性的な受け入れ校が勢ぞろい 研修目的に応じて深い交流が可能

北京、上海をはじめ教育旅行で人気の主な都市では、友好交流校を指定し、海外の学生の訪問を積極的に受け入れている。学生同士、英語でのコミュニケーションが可能な学校も多く、なかには北京月壇中学のように日本語科が設置されていて、日本語で交流できる場所もある。

いわゆる普通科の学校から、戯曲芸術、商業貿易、調理、美容などを教える職業学校まで、さまざまなタイプがあるため、各学校に合った交流校の選択が可能だ。交流については、まず旅行会社を通じて申し込み、その後現地校と条件などについて話し合っただけで決定に至る。学力レベルが非常に高い学校も多いので、選ぶ際は無理のない交流ができることを前提に、先方に明確な目的が伝わるよう配慮したい。

交流のスタイルは、学校見学、授業参加、スポーツ・文化交流、ランチ、班別市街研修など、目的に応じて半日から数日間の設定ができる。なかには姉妹校提携を結び、事前にメールのやりとりなどをして、より深い交流を図っているケースも見られる。

現地校では、いずれも非常に友好的な態度で日本の学生を迎えてくれるので、短時間の交流でも別れ際にはお互い涙ぐむ学生が出るほど。同じアジアに生活する仲間との触れ合いは、ほかでは得られない貴重な体験となるようだ。



現地校の授業に参加することで、学びながらより深い交流を図ることができる

バラエティー豊かな体験素材 人数に応じたアレンジも自在

日本の多くの学校が、海外教育旅行で取り入れるようになった体験学習。海外旅行が身近になった現在、観光スポットをめぐるだけでは得られない、貴重な体験の場を求めて、訪問先も多様化してきている。

中国には、こうしたニーズに応えられる体験素材も豊富だ。中国は国土が広く、地域ごとにさまざまな文化があり、多くの民族が暮らし



人力の三輪車に乗り北京の旧市街を回り、民家を訪れる「胡同遊覧」は人気の体験プログラムのひとつ

ている。そのため、例えば「餃子作り」ひとつにしても、北京餃子と西安餃子では形が違ったりと、身近な素材を通じてあらためて文化の違いを考える経験もできるだろう。

体験によっては、大人数での参加が難しいものもあるが、数多くのプログラムがあるので、多数コースを用意して選択性にしたたり、グループごとに体験日を変えるなどで対応したい。

交流校紹介(北京)

北京では、100校以上が海外からの学生受け入れを表明している。なかから、特徴のある学校を8校紹介する。

【北京師範大学附属中学校】

中国最初の国立中学校の1つ。100年以上の歴史を持つ市の重点学校で、北京師範大学の教育実験基地でもある。最新鋭の設備を備え、アメリカをはじめ海外の多くの学校と友好関係を結んでいる。

【北京大学附属中学校】

北京大学の「小学校・中学校・大学・大学院」一貫教育の育成モデル校。卒業生のほとんどは北京大学、精華大学など全国の重点大学に進学。吹奏楽団、舞踊団は世界的に活躍し、野球や陸上などスポーツ活動も盛ん。

【中国人民大学附属中学】

発明創造科、自動車模擬ドライブ科、科学実践科、現代少年科、2種言語教科など、ユニークな課程を設けている北京市モデル高等学校。専修科では、天文観測、ホームページ制作、日本語など約80の講座がそろっている。

【北京育才学校】

明・清時代の皇家庭園内という静かな環境に恵まれている。小学部・中学部・高校部からなる12年一貫教育の公立学校。北京市の重点対外開放校として、アメリカ、イギリス、オーストラリア、日本などと交流。

【北京月壇中学】

北京市の中学で唯一日本語科を設置しており、生徒たちの日本語のレベルも高い。毎年日本から80校、8000人余りの学生を受け入れており、中日友好に貢献している。

【北京市民族職業高校】

省市クラスの重点職業学校。国際ビジネス、民族料理調理、ホテル管理、ビジネス日本語、美容美髪、イメージデザインなどの専門がある。ホイ、満州、ウイグル、蒙古、朝鮮などの少数民族学生が総数の20%を占める。

【北京市東方職業学校】

園芸学科を主に、外国語教育にも力を入れている職業高校。敷地内に600㎡の草花温室と1.5万㎡の実習場を持つ。英語学科のほか、日本語学科もあり、職業技能の育成とともに、基礎文化素養の育成も図っている。

【北京戯曲芸術職業学校】

梅蘭芳ら著名な京劇芸術家によって50年ほど前に創設された。これまでに京劇、崑曲、評劇、曲芸、新劇、雑技、音楽、舞踊、人形芝居など5000人近くのプロを輩出している。

●体験コース例(北京)

体験メニュー	学習内容	スケジュール	所要時間	対応人数
書道と水墨画教室	国際青年研修大学(中日青年交流センター内)で、中国の伝統文化に触れる。	班ごとに各教室に入り、先生から授業を受ける。	1時間	20～150人
中国語会話教室		1班(5～10人)に1人の先生(コック)が付き、実習を受ける。		20～200人
中華料理講座				20～50人
餃子作り体験				20～400人
太極拳&カンフー講座		クラスごとに実習を受ける。		20人以上
京劇体験	高碑店市で、中国の伝統芸術に触れる。	京劇についての紹介、化粧や衣装を着けての記念撮影、俳優の練習風景の見学。	2時間	10～40人
胡同遊覧	2人乗りの三輪車で旧市街を回る。一般の民家も研修訪問。	三輪車：40分、民家訪問：20分	1時間	20～200人
中華民族園	中国全土の56民族の生活と伝統文化の研修。	入り口で全体の説明を受けてから、班ごとに自由行動。	2時間	20人以上
地下鉄体験 &繁華街散策	北京市民の生活や街の雰囲気と直接触れる。	天安門広場で解散。班ごとに「天安門東駅」～「王府井駅」まで1駅地下鉄に乗り、王府井繁華街を自由散策。	3～4時間	20人以上
農業体験	錦繡大地農業観光園で、野菜栽培工程を中心に見学。	見学：1～2時間	3時間	20人以上
農家生活体験	明の十三陵周辺の村を訪れ、農家生活や農作業などを体験。記念植樹ができる。	3時間コース：農家訪問(1時間)、農家の人の指導により班ごとに農作業や植樹の体験(2時間)。	3時間	20～40人
		1泊コース：班ごとに農家でホームステイ。農家生活や農作業を体験。夕・朝食各1回付き。	1泊	
「残長城」を見学、修築	340年近くの歴史を持つ明代の長城遺跡「残長城」を訪れ、修築工事を体験する。	専門家の指導の下、古い長城煉瓦を使って修復する。	1.5時間	20～70人
石経山雲居寺見学 &韓村河訪問	寺中に1万4000枚の仏教経文石刻を所蔵、その彫刻の素晴らしさは世界一とも称えられる「雲居寺」と、北京で一番豊かな農村部といわれる「韓村河」を訪問。	午前中、雲居寺を見学(約3時間)。その後、韓村河へ移動(約20分)。村のレストランで田舎料理を賞味。午後、現地ガイドから村の全貌、教育センターなどの説明を受ける(約1.5時間)。	6時間	20～100人

(資料提供：トップツアー 教育旅行事業部・中国室)

●体験コース例(上海)

体験メニュー	学習内容	所要時間	対応人数
工場見学①	中国一の製鉄工場「宝山鋼鐵集団公司」で、熱延工場と原材料埠頭を見学。	1.5時間	20～160人
工場見学②	日系企業「ヤクルト上海工場」を見学。	1時間	20～80人
工場見学③	日系企業「サントリー昆山工場」を見学。	1時間	20～80人
工場見学④	中米合併企業「コカ・コーラ上海工場」を見学。	1時間	20～80人
学校交流①	曹陽中学で学校交流。	1.5時間	20～100人
学校交流②	桐柏高等学校で学校交流。	1.5時間	20～100人
学校交流③	甘泉外国語学校で学校交流。	3時間	20～200人
学校見学	中国の名門大学「上海交通大学」キャンパスと学校歴史館を見学。	1時間	20～100人
餃子または小籠包試作	上海市内の有名店「園安大酒店」で、餃子または小籠包を試作。点心の専門家による実演を見学、指導が受けられる。	2時間	20～200人
書道教室	専門の先生による書道の教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
中国文化教室①	中国伝統民芸「切り紙」を試作。専門の先生による教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
中国文化教室②	中国伝統民芸「陶器」を試作。専門の先生による教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
中国文化教室③	中国伝統民芸「水墨画」を試作。専門の先生による教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
中国文化教室④	中国伝統民芸「京劇面」を試作。専門の先生による教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
中国文化教室⑤	中国伝統民芸「中国結び」を試作。専門の先生による教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
太極拳教室	専門の先生による太極拳の教習・指導が受けられる。	1時間	15～40人
市民生活体験	上海で最初にできた住宅団地「曹陽新村」の家庭を訪れ、交流し、家庭料理を賞味する。	3時間	10～100人

(資料提供：トップツアー 教育旅行事業部・中国室)

体験テーマ紹介

北京、上海、西安で体験できるものを中心に、人気の高いテーマを紹介する。

●胡同遊覧

北京特有の昔ながらの路地を、三輪自転車に乗ってめぐるプログラム。路地に立ち並ぶ「四合院」と呼ばれる昔の建築様式の家々を眺め、途中で家庭訪問もできる。

●餃子・小籠包作り

一般家庭やレストランで、餃子や小籠包作りを体験する。中国の一般家庭の惣菜を実際に作り、人々の生活を垣間見ることができる。



ほかに、料理学校で中国伝統料理の講義を受け、その後本格的な中国料理に挑戦するプログラムもある。



●中国茶体験

烏龍茶、プーアル茶、ジャスミン茶など、各地でいろいろなお茶が飲まれている中国では、茶芸館と呼ばれる喫茶店で、伝統作法にのっとったお茶の淹れ方を学び、味の違いを楽しめる。龍井茶で有名な杭州には、お茶の博物館もある。

●武術体験

北京、上海などでは、公園に講師を招いての太極拳指導が受けられる。また、河南省の少林寺に行けば、本場の少林拳法の見学と、武術コーチによる少林拳法の指導が受けられる。

●京劇体験

実際に京劇の衣装を着け、化粧をしてもらい、独特の所作などの講義を受ける。京劇以外にも、中国伝統芸能や二胡などの楽器演奏体験なども可能。



●書道・民芸品作り・陶芸体験

中国伝統の書道を、専門家を招いて学んだり、古来から伝わる中国結び、刺繍などの民芸品、陶器などを実際に作る。

●農村体験・ホームステイ

都市郊外の農村や大規模な農業施設を訪問し、実際に農作業をし、料理を味わい、進歩した中国の農業技術に触れる。また、農村でのホームステイも最近注目されており、日帰りでの家庭訪問から、数泊するものまで、人数と目的に応じたアレンジが可能だ。

●企業訪問

鉄鋼業、IT産業、家電、自動車、食品ほか、中国の最先端に行く各種企業や、中国に進出している日本企業の工場を訪れ、製造工程などを見学し、担当者から話を聞く。

●市街自主研修

地下鉄網が整備された上海や北京では、市街地での自主研修が可能だ。上海なら、ショッピングスポットとしても楽しい南京東路を起点に、グループごとにテーマを決めて行動するのがいいだろう。北京では、王府井を起点にすれば、地下鉄での移動もしやすい。日本語を勉強する学生を案内役に、交流しながら研修を行うケースも増えてきている。

北京

●中国の新旧が凝縮した人気No.1の訪問地

DATA

人口：約1216万人
面積：1万7000km²
位置：華北平原の北端に位置し、東は天津市と隣接し、残りの部分は河北省と隣接している
気候：暖温帯半湿潤気候地域に属し、春と秋が短く、冬と夏が長い。年間平均気温は12.7℃で、最も寒い1月の平均気温は-4.6℃、最も暑い7月の平均気温は25.8℃

教育素材一例

【歴史】万里の長城・八達嶺(世界遺産)、故宮博物院(世界遺産)、天安門広場、天壇公園(世界遺産)、明の十三陵(世界遺産)、頤和園(世界遺産)、周口店の北京原人遺跡(世界遺産)、景山公園、盧溝橋

【自然・環境】北京動物園、北海公園

【科学・現代文化】中国科学技術館、オリンピック公園、中国国家大劇院、798芸術区

【伝統文化】京劇鑑賞、雑技鑑賞、大中華(総合ショー)

【体験】胡同遊覧、伝統文化講座、学校交流、農業体験、ホームステイ、市内自主研修

【買い物・散策】東方新天地、王府井大街、西单北大街、秀水街、琉璃廠文化街

【食事】北京料理(北京ダックなど)ほか、各地方料理

世界遺産などの学習素材、自主研修や学校間交流などで教育旅行への対応整備が充実している北京。大型の修学旅行団体でも、比較的動きやすいのが魅力だ。

北京は、中国の首都にして、全国の政治、科学、文化、国際交流の中心地である。中国7大古都の1つでもあり、世界的にも知られる歴史、文化、文教が栄える都市である。

古代の宮殿、王室の庭園、寺院や陵墓など歴史的、文化的見どころが多いばかりではなく、風景の美しい自然景観も残されている。今日の北京はなおのこと東方の古都の魅力を持つ都市

であり、原始的な古都の風貌もあれば、近代的都市の様相も見せる。青空と白雲の下では、赤い塼と黄色い瓦の古い風貌と高層ビルの新しい姿が互いに照り映える対照的な風景も印象に残るだろう。



北京市の中央にそびえる天安門



市街には真新しい高層ビルが立ち並んでいるが、胡同と呼ばれる古民家が残るエリアもあり、中国の新旧文化を体感できる



学習ポイント

代表的な教育素材である万里の長城では、中国の広大な土地や長く続いてきた歴史など、想像を超える時空間のスケールを、身をもって体験することができる。

ここ30年来、北京は飛躍的な発展を遂げ、2008年にはオリンピックを開催。相前後して市内には大型のホテルや商業ビルなどが次々と建設されている。未来を見据えた街づくりの現場を異国で体験することも意義がある。現地の学生との交流では、コミュニケーションの必要性を痛感できるだけでなく、中国人学生の勤勉さや熱心さを感じることで、触発される機会が数多くある。

また、日本の学校による中国修学旅行の7～8割は北京市で実施されているので、交流には慣れており、リードしてくれる場合が多い。

天津

●明・清時代の建物が残る港湾都市

DATA

人口：約964万人
面積：1万2000km²
位置：華北平原の東北部に位置し、北は北京市と残りの部分は河北省と隣接している
気候：暖温帯半湿潤の大陸季節風気候に属し、年間平均気温は12.2℃。1月の平均気温は-4.0℃、7月の平均気温は26.4℃

教育素材一例

【歴史】周恩来鄧穎超記念館、古文化街、天后宮、石家大院、五大道風景区

【自然・環境】水上公園、盤山風景区

【現代文化】天津ラジオ・テレビタワー

【体験】学校交流、企業訪問

【買い物・散策】天津勸業場、瀋陽道古物市場、和平路、濱江道商店街、小白楼商務区

【食事】海鮮料理、天津家庭料理

北京に隣接しているため、北京を拠点に足を延ばすには最適な都市。租界地があったため、街には欧風のエキゾチックな風情が残っている。

直轄市の1つであり、北京への海の玄関口としても知られる。漢・隋代に運河が開かれ、土地が整備され、金・元代には「直沽」と呼ばれた。明代初期には海洋鎮が置かれ、後に「天津」と改称。清代には隸州に属し、天津府となった。

アヘン戦争後の1858年、天津条約により通商港として開放されてから、租界地が置かれた

ため、欧風のエキゾチックな雰囲気も混じっている。日本の租界地もあった。その時代以降、水運、手工業、製塩業が勃興し、現在の基盤となった。軽工業、機械電機、化学工業などが盛んな中国北方の総合産業都市として栄えており、市内には海河とその支流になっている子牙河、大清河、南運河、北運河、永定河などがある。



清代の街並みを再現した古文化街には、伝統工芸品を扱う店などが並んでいる

学習ポイント

教育旅行では、北京からひと足延ばせる訪問地として最適な天津。現地交流校訪問のほか、1920～30年代の洋風建築物が約2000棟も立ち並び五大道風景区、茶芸や中国美術を鑑賞したり買い物もできる古文化街、水上公園近くにある周恩来鄧穎超記念館、天津ラジオ・テレビタワーなどを見学。世界のトップ企業の多くが進出している天津経済技術開発区では、企業訪問もできる。

上海

●中国経済を牽引する国際商業都市

DATA

人口：約1379万人
面積：6340km²
位置：東海の水際、揚子江の海の出口に位置している
気候：亜熱帯モンスーン気候に属し、年間平均気温は15.7℃。1月の平均気温は3.5℃、7月の平均気温は27.8℃

教育素材一例

- 【歴史】外灘、玉仏寺、豫園、上海都市歴史発展陳列館、朱家角、松江方塔、龍華風景区、天妃宮、醉白池、嘉定孔廟、匯龍潭
- 【自然・環境】上海水族館、上海野生動物園、上海東方地質科学普及館
- 【科学・現代文化】上海科学技術館、上海都市規劃展示館、東方明珠塔、上海環球金融センター、新天地
- 【伝統文化】上海博物館、上海工芸美術博物館、上海商城劇院
- 【体験】東方緑舟での野外体験、企業訪問、学校交流、伝統文化講座、市内自主研修
- 【買い物・散策】南京路步行街、正大プラザ、豫園商城、淮海路商店街、東台路骨董市場、上海市免税店
- 【食事】上海料理ほか、各地方料理

中国の金融、貿易、水運の中心都市であり、日本からも多くの企業が進出している上海。2つの国際空港を抱え、市内の交通網も充実しているため、移動や自主研修もしやすい。

中国建国後から直轄市として中国経済を牽引。国際的な商業都市として発展を遂げている上海は、元代に華亭県が5つの郷を分離して上海県として設けたことが由来。明代には倭人(日本海賊)の襲撃を防ぐために上海城が築かれた。清代の1842年には南京条約によって欧米列強から貿易港として開港を迫られた。

開港後はイギリス、フランス、アメリカ、日本などが租界地を作り、軽工業、紡績業などが発達、商業都市の道を進んだ。1930年代には「東方のバリ」とも呼ばれ、しゃれた雰囲気を持つようになった。

開放政策以後は、アジア最大の金融センターを目指しており、浦東地区では大型開発が進んで巨大ビルが林立。2001年には、APEC(アジア太平洋経済協力会議)が開催され、10年には万国博覧会も開催された。現在も街全体に活気があふれ、ビジネス・観光を目的に国内外から人が押し寄せている。



明代に造園された江南様式の名園「豫園」



南京路をはじめとする市街では、大都会のにぎわいを感じられる



中国3大博物館の1つで、約12万点もの文物を収蔵している「上海博物館」

学習ポイント

上海では、経済的活況が続く中国の勢いとパワーを知ることができる。外灘にはレトロ建築が並ぶ一方で、黄浦江対岸に見える東方明珠塔や高層ビル金茂大廈・上海環球金融センターなどが立つ浦東地区の風景は圧巻だ。また、玉仏寺、豫園、松江方塔、龍華風景区、天妃宮、醉白池、嘉定孔廟、匯龍潭などの歴史的な見学地との対比もできる。このほか、繁華街の南京路では、大都会らしいにぎわいを肌で感じられ、短時間なら自由行動に最適だ。交流校のレベルも高い。

蘇州

●文化の香り漂う江南の庭園都市

DATA

人口：約622万人
面積：6267km²
位置：揚子江の下流に位置し、黄海に臨んでいる
気候：淮河を境とし、以南は亜熱帯湿潤季節風気候に属し、以北は暖温帯湿潤季節風気候に属する。年間平均気温は16.1℃。1月の平均気温は3.5℃、7月の平均気温は28.5℃。夏季の降水量が年間の半分を占める

教育素材一例

- 【歴史】拙政園、留園、網師園、獅子林、滄浪亭、寒山寺、虎丘
- 【自然・環境】盤門景区、天平山
- 【伝統文化】蘇州博物館
- 【買い物・散策】蘇州刺繍研究所商場、観光工芸品貿易センター、觀前街、南門商業区、石路、十全街
- 【食事】蘇州料理、精進料理

拙政園をはじめとする古典庭園建築が有名で、上海から日帰りでも訪れることができる蘇州。ここでは庭園めぐりを中心に、宋代の街並みに触れてみたい。

上海から100kmに位置する蘇州は、長江三角洲の最も豊かな地区、太湖の浜にある。2500年以上の歴史を有する長江南岸の文化都市として栄え、春秋時代には呉、楚等の国に属し、紀元前514年に呉の国の都として蘇州城が造成された。街なかには、川と街の相重なる「小橋、流水、人家」といった古朴な面影が漂い、宋代に築かれた数多くの民間の庭園の数々は「蘇州古典園林」として世界遺産に登録されている。



蘇州では、世界文化遺産に登録されている江南式庭園めぐりがおすすめ



東洋の斜塔として名高い虎丘の「雲巖寺塔」

学習ポイント

拙政園、留園、網師園、獅子林が著名な4大庭園であり、拙政園と留園は教育旅行でも人気がある。いずれも広大な敷地を持っているので、じっくりと園内を見学できる。このほか蘇州の旧シンボル塔が立つ虎丘、日本との交流もある寒山寺、名産の刺繍を製造・研究する施設などがある。

杭州

●西湖を有する中国有数の観光都市

DATA

人口：約672万人
面積：1万6596km²
位置：中国の南東部沿海地域、長江デルタ以南にある
気候：亜熱帯モンスーン気候に属し、年間平均気温は16.2℃。5～6月は降雨期

教育素材一例

【歴史】霊隠寺、岳王廟、六和塔、蘇東坡記念館、浙江省博物館
【自然・環境】西湖と西湖十景、千島湖、浙江自然博物館
【伝統文化】西泠印社、中国シルク博物館、中国茶葉博物館、宋城
【現代文化】印象西湖
【体験】吳山の城隍閣で記念植樹、茶芸体験、白鶴村ホームステイ
【買い物・散策】西湖天地、延安路商店街、新華路絹織物特色街、吳山路夜市、清河坊歴史文化街
【食事】杭州料理、麵料理、龍井茶

学習ポイント

春や秋の西湖湖畔でのウォーキングや遊覧は、教育素材としてもおすすめ。また書画篆刻の西泠印社、浙江省博物館など湖畔周辺に見学地が多く、時間的な効率もいい。日本茶の起源であるお茶の生産地訪問や茶芸などの体験、古刹の霊隠寺、970年に建立された六和塔などをめぐることもできる。食事は杭州料理が出されるが、新鮮な食材が使用され、東坡肉やじゅん菜スープなどあっさりとして日本人の口に合うものが多い。

四季折々の絶景が有名な西湖がある、中国でも有数の観光都市。歴史的建造物の見学と合わせ、船での西湖遊覧、湖畔の散策などを取り入れ、美しい自然を楽しみたい。



毎年十五夜の夜になると逆流現象が見られる大河「銭塘江」。手前に見えるのが「六和塔」。

杭州は浙江省の省都であり、広大な湖「西湖」をシンボルに持つ、国内有数の観光地だ。中国7大古都の1つにも数えられている。秦の始皇帝が銭塘県を設置して以来、西湖を中心に繁栄。五代時代には呉越地になり、唐代には浙江西・東道が置かれた。12世紀南宋の時代に王朝の都となり、西湖は蘇東坡やマルコポーロをも魅了した。

杭州市内には省域面積の3分の1を流域とする最大の河川である銭塘江、富春江、甌江などの河が流れ、千島湖もある。古くから「シルクとお茶の都」と呼ばれており、お茶の生産量は中国第1位。名産品「龍井茶」は世界的に知られる。日本(東京・関西)からは直行便があるので、短い日程でも充実した研修を行うことができる。



宋の時代から「西湖十景」と称えられた「西湖」は、四季折々の絶景が見どころ

広州

●華南の中心、歴史ある貿易都市

DATA

人口：約775万人
面積：7435km²
位置：珠江デルタ地帯の北部、西江、北江、東江の合流地点に位置する港湾都市である
気候：大部分は亜熱帯気候に属し、夏は長く冬は暖かい。雨が多い。年間平均気温は21.8℃

教育素材一例

【歴史】陳家祠、光孝寺、六榕寺、懷聖寺、中山記念堂、鎮海樓、西漢南越王墓博物館、広東省博物館
【自然・環境】白雲山風景名勝区、越秀公園、広州香江野生動物世界
【伝統文化】広東民間工芸博物館、伝統劇「粵劇」
【体験】企業訪問、学校交流
【買い物・散策】天河城プラザ、上下九路商店街、北京路商業步行街、流行前線
【食事】広東料理(子豚の丸焼きなど)



陳一族の家廟である「陳家祠」

華南最大の商工業都市で、貿易港でもある広州。近代化の文化を学べる名所旧跡も多い。群が立ち並ぶ大都市でありながら、市内には歴史的遺構や伝統文化を学べる名所旧跡も多い。

広州は「羊城」の別称がある、南中国海に臨む広東省の省都。2800年余りの歴史文化を持つ都市であり、中国の南方における最も大きい商工業都市と対外貿易の港となっている。唐代には海のシルクロードの起点となっていた黄浦江は、今でも国内外多くの都市と結ばれており、広東華僑が誕生した背景でもある。四季を通して気候が湿潤で、緑に覆われ、花が咲き乱れることから「花城」、つまり花の町との愛称も付いている。

広州市の名所旧跡は150カ所あり、新しくモダンな娯楽施設もさまざまに整っている。広東刺繍や広東オペラ、広東料理など国際的に評価されている。

北京～広州、北京～九龍の2大鉄道幹線は省内を貫いて走り、高速道路も四通八達している。中国有数の大規模空港である広州白雲国際空港へは、日本からの航空便も多く乗り入れている。



珠江の両岸に広がる広州の街並み

学習ポイント

西漢南越王墓、広東省の富裕な陳一族による家廟の陳家祠、広州に現存する最も高い古代建築の六榕寺のほか、郊外にある白雲山には華南熱帯植物園、明珠楼、能仁寺、九竜泉などの見学施設がある。食事は、バリエーション豊富な広東料理で、日本人にも親しみやすく食べやすい。学校も数多くあり、交流活動も充実している。日本企業の訪問もできる。

西安

●古代王朝が残した歴史の宝庫

DATA

人口：約765万人。回、満州、蒙古、チベットなどの少数民族が住んでいる
面積：9983km²
位置：中国中央、黄河中流、黄土高原の中部に位置する
気候：高原乾燥気候。年間平均気温は13.3℃

教育素材一例

【歴史】半坡博物館、碑林博物館、清真大寺、阿房宮、秦の始皇帝陵、兵馬俑博物館、華清池、西安城壁、大慈恩寺・大雁塔、青龍寺、法門寺、陝西省歴史博物館、鐘樓、乾陵、茂陵、興教寺

【自然・環境】華山(中国5大名山)、黄河、太白山、朱雀森林公園

【伝統文化】大唐芙蓉園、西安博物院、唐樂舞踏鑑賞、皮絵芝居、長安書画

【現代文化】西安大雁塔北広場

【体験】餃子作り、城壁ウォーキング、工芸品工場見学、学校交流

【買い物・散策】文宝齋、景泰藍工芸品商店、世紀金花ショッピングセンター、東大街、北院門観光商品街、康復路卸売市場、書院門古文化通り、驛馬市商店歩行街

【食事】西安餃子、三国の宴(宮廷料理)、羊料理

文化の花開いた漢や唐などの時代から現代に至るまで、西部の要衝都市として栄えた西安。西へ向かうシルクロードには、東西の洋の交流と古代文明の痕跡が残る。



西安城壁の上は歩くことはもちろん、自転車でも移動することもできる



まるで生きているかのような等身大の兵士の兵馬俑

陝西省の省都・西安は、かつて長安と呼ばれ、漢や唐など古代王朝の都であった。中国7大古都の1つであり、世界4大文明発祥の地の1つでもある。東西交流路として栄えたシルクロードの起点としても知られている。また、中華文明発祥地で、80万年前には藍田猿人が生息し、20万年前には大荔人、6000年前には半坡人が居住していたと言われる。

世界で最も完全な形で残っている古い城壁のほか、秦始皇帝陵兵馬俑、周・秦・漢・唐代の4大遺跡、6つの国家森林公园、鐘樓、碑林など、観光資源は非常に豊富で、世界中から多くの観光客が訪れている。

高原部分が省面積の半分近くを占め、50～150cmの深さの黄土に覆われたこの地帯には、黄河が切り裂くように流れている。農業は、麦、稲、黍、綿、桑、タバコの葉の生産が盛ん。また、石炭、機械、石油、電気機器、紡績などの工業も比較的盛んで、この10年ほどは、街並みが急速に現代的に変貌を遂げている。



貴重な文化財が展示されている「陝西省歴史博物館」



大自然の絶景が望める「華山」

学習ポイント

72の歴代の帝王陵墓が省内に点在。秦の始皇帝の巨大な副葬坑である、世界遺産「兵馬俑博物館」では、6000体以上の等身大の兵馬に圧倒されるだろう。また、楊貴妃ゆかりの別荘地・華清池、始皇帝陵、歴史博物館、三蔵法師が仏典の保存のために建てた唐代の大雁塔、中国に唯一残る巨大な西安城壁など、歴史学習の素材には事欠かない。

遣唐使の一員としてこの地を訪れた空海が、密教の奥義を伝授された青龍寺には、空海記念堂や空海記念碑があり、1200年以上前の中日交流の歴史を垣間見することもできる。西安の食べ物は、種類豊富な餃子が名物だ。

シルクロード

マルコポーロや玄奘三蔵で知られる西安から西へ向かう交易路

広大な砂漠を行くラクダのキャラバン、地平線に沈む夕日、王国の夢の跡の古城、膨大な仏教遺跡など、「シルクロード(絹の道)」は、紀元前2～3世紀ごろ、西洋と東洋の文化と人が行き来する重要な交易路だった。中国からの輸出品が絹だったことから、この名称が付けられた。また、玄奘三蔵が往来するなど、仏教もこの道から伝えられた。イタリアの商人マルコポーロが記した「東方見聞録」でも有名だ。

シルクロードと言っても1ルートのみではなく、天山南路、天山北路、西域南道などいくつかに分かれている。

敦煌の見どころの1つ、鳴沙山の谷間に湧き出た「月牙泉」



万里の長城につながる関の中で、唯一建設当時のまま残されているという「嘉峪関」

洛陽

●古代13王朝が栄え、仏教が花開いた都

DATA

人口：約677万人。回、満州、蒙古、チベットなどの少数民族が住んでいる
面積：1万5492km²
位置：黄河の中下流に位置し、河北省、山西省、陝西省、湖北省、安徽省、山東省と隣接している
気候：亜熱帯と温帯の間に属し、年間平均気温は14.7℃

教育素材一例

【歴史】龍門石窟、鼓楼、白馬寺、白園、洛陽博物館、閼林廟、周王城天子駕六博物館、商都遺跡、呂祖庵、風穴寺
【自然・環境】牡丹公園、白雲山、桜桃溝、花果山、鷄冠洞、黄河小浪底ダム
【体験】餃子作り
【買い物・散策】王府井百貨、丹尼斯百貨、家樂福
【食事】洛陽水席、河南料理

華やかな王朝文化を今に伝える龍門石窟、白馬寺など、貴重な古代中国の史跡が多く残る洛陽。壮大な中国の歴史を体感できるだろう。

洛陽は河南省の西、黄河の中流地にあり、5000年の歴史を誇る中国の7大古都の1つとして知られている。東周、後漢、三国の魏、西晋、北魏など歴代13の王朝が都を置き、歴史が最も長く、都を置いた王朝が最も多い古都である。世界遺産に登録されている王朝文化の結晶である龍門石窟、中国初の仏教寺院・白馬寺、殷代から宋代までの貴重な文物を所蔵する洛陽博物館などがある。

多くの名所旧跡のほか、毎年4月に催される「牡丹祭り」は国内外から数多くの観光客を惹きつけている。この唐三彩、青銅器、提燈などの工芸品は非常に有名である。

また、洛陽にはさまざまな民族が居住。32種類の民族の中で、漢民族が約600万人、その他の少数民族は10万人以上いる。



中国3大石窟の1つ「龍門石窟」には、世界中から多くの人が訪れている

中国初の仏教寺院「白馬寺」の入り口には、由来となった白馬の石像がたたずむ

学習ポイント

最大の見学ポイントである龍門石窟は、敦煌の莫高窟、大同の雲崗石窟に並ぶ中国3大石窟の1つであり、2100以上の仏龕、43の仏塔、10万體以上の仏像と3600点以上の碑刻題記が残っている。主な石窟見学だけでも2時間、すべてを見るなら1日を要する。
また、中国最古の白馬寺は、後漢の時代、紀元68年の創建であり1900年以上の歴史を持つ。白居易の墓がある白園、三国時代の蜀の義将・関羽の首が埋葬されていると伝えられる閼林廟など、はるか遠い古代中国の歴史を垣間見ることができる。

少林寺 (嵩山)

●本場の少林拳法を見学・体験

DATA

位置：鄭州から西へ約70kmの登封市内に位置する嵩山の少室山北麓
気候：亜熱帯と温帯の間に属し、年間平均気温は15℃前後

教育素材一例

【歴史】少林寺、塔林、達磨洞、中岳廟、嵩陽書院、観星台
【自然】二祖庵、初祖庵
【体験】少林拳法体験(少林寺武術館)
【食事】精進料理

河南省・登封市、嵩山の少室山の少林寺では、世界的にも有名な本場の少林拳法の見学や体験のほか、貴重な歴史遺跡、風光明媚な自然に触れることができる。

鄭州から西へ約70kmの登封市、嵩山の少室山北麓にある少林寺仏教禅宗の総本山で、北魏時代(西暦495年)に建立された寺院。少林寺武術館のほか、歴史ある碑刻、明代の壁画と古代に残された墓塔林があり、塔林には唐時代から清代にかけての1000年という中国最古の歴史を持つ243基の墓塔が現存している。少林拳法の体験コースもあり、一般参加ができる。

学習ポイント

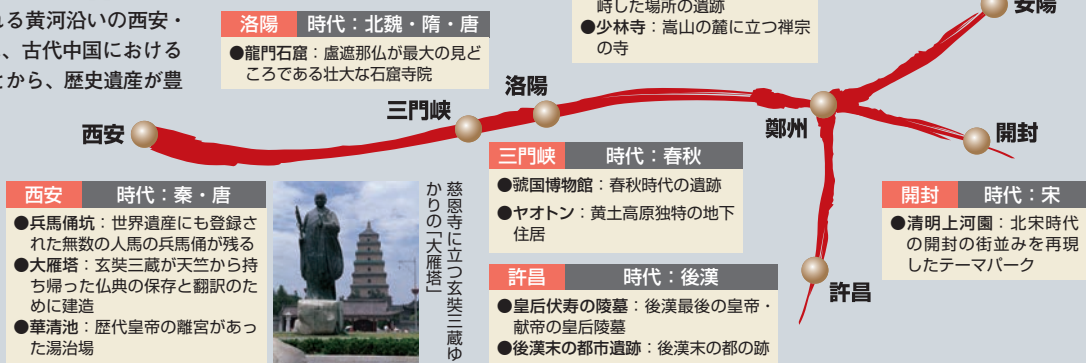
少林寺の寺院内めぐりのほか、周辺に達磨が修行した達磨洞、少林寺の歴代僧侶の墓である塔林などが見学できる。また、少林寺武術館があり、少林武術僧侶の実演見学の後に、コーチの指導によって体験ができる。
鄭州で河南省武術協会と交流し、少林寺で本場の少林拳法を体験、洛陽で龍門石窟などを見学する王朝街道をたどるルートも魅力的だ。



少林寺では迫力のある少林拳法を間近で見学できるほか、実際に体験することもできる

王朝街道 古代都市を時代でたどる 学習価値の高いルート

「中国7大古都」に数えられる黄河沿いの西安・洛陽・鄭州・開封の4都市は、古代中国における歴史の主要舞台であったことから、歴史遺産が豊富な地域として知られる。国宝級の文化財や博物館所蔵文物などが集中しており、内容の濃い充実した見学ができる。
これらの4都市を結ぶ道は「王朝街道」と名づけられ、古都めぐりの人気ルートとなっている。



大連

●日本との関わりが深い
東北の緑の都

DATA

人口：約578万人
面積：1万3238km²
位置：遼東半島先端部に位置し、西は渤海湾、東は黄海。海を隔てて山東半島を望む
気候：モンスーン型温帯気候で、空気は湿気を含む。年間平均気温は10.3℃

教育素材一例

- 【歴史】中山広場、人民広場、203高地、水師営会見所、營城子漢墓
- 【自然・環境】棒棰島景区、冰峪風景区、星海広場、老虎灘海洋公園、自然博物館
- 【体験】企業訪問、学校交流
- 【買い物・散策】邁凱楽大連商場、青泥窪商業城、天津街商店街、ロシア風情街
- 【食事】海鮮料理、餃子、焼売



異国情緒あふれる建築物と、近代的なビル群が立ち並ぶ大連の街並み

学習ポイント

市街地には、日本統治時代の建物など日露戦争の痕跡が随所に残る。中国北方を代表する景勝地が連続する大連海浜は、棒棰島、虎灘公園、北大橋、燕力嶺、傅家荘公園、白雲山、星海湾、黒石礁などがあり、多彩な学習ができる。
また、旅順口風景区には海浜観光と生態環境観光が集まっているほか、日露戦争の遺址がある。

遼東半島にあるアカシアの街・大連は、北方最大の港湾都市として発展。日本の侵略時代の遺構も見られる。



5月にはアカシア祭りが盛大に行われる

大連は遼東半島最南端に位置する中国北部の重要な港で、工業と観光の中心となっている都市。歴史が比較的浅いため、流行にも敏感だ。大連は三方を水に囲まれており、長さ42kmの浜海路は美しい景観を見せ、沿海には島々が点在する。市街地も清潔で環境も整備されている。

5月のアカシア祭り、国際ファッションショー、国際マラソン大会などのイベントも例年催されている。

青島

●欧州風情が漂う
海洋都市

DATA

人口：約758万人
面積：1万1026km²
位置：山東半島の南部に位置
気候：季節風大陸性気候だが、温暖湿潤で5～10月の平均気温は20℃以上

教育素材一例

- 【歴史】棧橋、八大関、江蘇路基督教堂、青島ドイツ総督楼旧址博物館、太清宮
- 【自然・環境】嶗山(7つの遊覧区あり)、小青島、中華文明彫塑街、石老人国家観光リゾート区
- 【体験】企業訪問、学校交流
- 【買い物・散策】文物商店、中山路総合商店街、台東三路商業步行街、向陽路総合商店街、龍山地下商店街
- 【食事】山東料理、海鮮料理



現在は世界的に有名な青島ビール、家電メーカー「ハイアール」の本拠地としても有名だ。

夏には海水浴客でにぎわう海浜リゾート

学習ポイント

市街地では、キリスト教会やかつてのドイツ総督官邸など、ドイツ式の建築物が見学できる。八大関にある別荘区にもさまざまな国の建物が並んでいる。海浜地区では、歴史ある棧橋の散策、海水浴場での野外活動や自由行動なども組み入れられる。郊外にある道教の聖山・嶗山では、奇観を望むことができる。
大学が多い学術都市であり、学校間交流も充実している。

瀋陽

●歴史遺産も豊富な
東北の省都

DATA

人口：約708万人
面積：1万2942km²
位置：遼河平原の中央部
気候：北温帯大陸性気候で、1月が最も寒く、7月が最も暑い。年間平均気温は7.8℃

教育素材一例

- 【歴史】瀋陽故宮、昭陵、福陵、新樂遺址、張氏帥府、九一八歴史博物館
- 【自然・環境】瀋陽市植物園、棋盤山風景区
- 【買い物・散策】中街商業城、太原街、中街、五愛市場、南湖公園古文物市場
- 【食事】満漢全席、餃子、焼売

学習ポイント

瀋陽故宮など清代の史跡が多く残っており、質実剛健な華北・東北部の文化を見ることができる。また、20世紀前半の張作霖時代・満州国時代の欧風を取り入れた建築物も市街地の随所にその姿を留めている。

歴史が古く、東北経済の中心地として発展を続ける瀋陽。日本企業も多く進出しており、工場見学などの研修が可能だ。

遼寧省の省都。旧称は奉天。満州(中国東北地方)の主要都市のひとつ。市の名前は市内を流れる渾河の古名・瀋河の北に位置することに由来する。国家歴史文化名城に指定される観光都市で、7200年前から定住集落があったという。漢民族、満州族、蒙古族、回族など30余りの民族が住んでいる。

現在は、経済的重要性から省クラスの自主権を持つ副省級市にも指定されている。日本のIT関連企業も多く進出しており、親日的だ。

曲阜

●東方文化の源
孔子の故郷

DATA

人口：約64万人
面積：815km²
位置：山東省の西南、済南の南方に位置
気候：大陸性気候で夏は暑く、冬は寒い。空気も乾燥している

教育素材一例

- 【歴史】孔廟、孔府、孔林、孔子精華苑、洙泗書院、漢魯王墓
- 【伝統文化】曲阜孔子六芸城、論語碑苑
- 【買い物・散策】鼓樓街
- 【食事】孔府菜(山東料理のアレンジ)

学習ポイント

「三孔」の見学はもちろん、教育旅行では体験入学をして、実際に孔子の教えに基づいて学ぶことができる。このほか、孔子に関連した施設、六芸城、孔子精華苑、論語碑苑、洙泗書院などもある。

魯国の都であり、孔子の故郷として世界遺産にも登録されている曲阜。中国儒教の祖・孔子の教えを身近に感じることができる。

春秋戦国時代における魯国の都であり、儒教の祖・孔子(紀元前551～同479年)の故郷として知られる。

世界遺産にも登録された曲阜は、中国の儒教崇拝を表す象徴的な街で、「三孔」と呼ばれる、中国3大宮殿の1つで孔子が祀られている「孔廟」、親族の住居「孔府」、親族の墓地「孔林」があり、この「三孔」を目的に中国内外からの見学者が絶えない。これらの占有面積は、街の大部分を占めている。曲阜の人口の約20%が、孔子の血を受け継いでいるとも言われる。

北京コース

特徴

- ①学習：万里の長城、故宮、頤和園、天壇公園、明・清時代の皇帝陵といった、世界遺産を組み込んだコース設定が可能。
- ②交流：学校が多く、文化やスポーツなどの交流手配が容易である。
- ③自由研修：王府井などの繁華街での自由行動のほか、地下鉄を利用した自主研修もできる。
- ④宿泊：日本人対応に慣れている大型団体向けホテルが多い。会議・宴会施設なども充実。近郊の農家でのホームステイも対応可能。
- ⑤食事：名物は北京ダック、羊肉のしゃぶしゃぶ料理など。
- ⑥受け入れ：修学旅行団体に対し、北京市は歓迎の意を表している。また、現地旅行会社にも実績があり、信頼性が高い。



中国教育旅行での人気No.1訪問地「万里の長城」

北京原人発見の地であり、世界遺産の豊富さ、急速に発展・進化を続ける都市や躍動感あふれる人々の姿など、中国の過去、現在、そして未来を知ることができる学習素材がそろうため、訪問地として不動の人気を誇っている。ハイライトである「万里の長城」見学は、学生にも人気が高く、現地でのさまざまな体験は生涯を通じての糧となるはずだ。

また、文教都市としての側面も持つことから、学校間交流の成果も非常に高い。

ひと足延ばせば、中国3大港の1つである天津を訪問することもできる。天津は、古い街並みと租界時代の欧風建築が印象的な街で、中国の都市が一様ではないことを実感できるだろう。

●北京3日間

作成：日本旅行 奈良教育旅行支店

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	大阪(関空) 北京	午前 午後	航空機 専用バス	空路、北京へ着後、北京市内へ北海公園「閣古楼」で、中国書道の集大成ともいえる逸品の数々を見学 書の街「琉璃廠」見学 四川料理の夕食 (北京泊)
2	北京	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、北京市内・郊外へ天安門広場、故宮博物院、景山公園見学 飲茶料理の昼食 八達嶺・万里の長城、居庸関(外観)見学 2008年北京オリンピックのメイン会場となった「鳥の巣」、水立方見学 北京ダックの夕食 梨園劇場で京劇鑑賞 (北京泊)
3	北京 大阪(関空)	午前～午後 夕刻 夜	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、北京市内へ国家博物館ほか見学 市内レストランにて昼食 北京空港へ 空路、帰国の途へ

コースポイント
3日間という短い日程ながら、到着日・出国日ともに北京市内見学の時間を確保。2日目は天安門広場、故宮博物院、景山公園、万里の長城などハイライトともいえる見どころをめぐり、夜は京劇鑑賞と充実のプログラム。大型・短期間の修学旅行でも対応しやすい内容となっている。

●北京4日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 北京	午前 午後	航空機 専用バス	空路、北京へ着後、故宮博物院見学 北京料理の夕食 2008年北京オリンピックのメイン会場となった「鳥の巣」のライトアップを見学 (北京泊)
2	北京	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、北京郊外へ出発 八達嶺・万里の長城、明の十三陵、天安門広場見学 途中、田舎料理の昼食 広東料理の夕食 (北京泊)
3	北京	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、北京市内散策(王府井を中心に) (日本語を学ぶ中国人大学生の案内による班別研修も可能) 上海料理の昼食 選択別体験活動プログラム 中国語会話、太極拳・カンフー、京劇、書道、水墨画、餃子作り等 北京ダックの夕食 雑技鑑賞 (北京泊)
4	北京 東京ほか	午前 午後	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、北京空港へ 空路、帰国の途へ

コースポイント
中国の政治・科学・文化の中心であるとともに、世界遺産などの観光資源も豊富な北京を体感できる人気のコース。日本各地からの航空便も豊富で、見学・食事・体験等の素材が多様なことから、学校のニーズに合わせたプランニングが可能。小グループに分かれての体験プログラムはもちろん、バラエティー豊かな食にこだわるのもおすすめ。

スケールの大きい数々の世界遺産が身近に
経済発展著しい中国の首都へ



北京の中心に位置する「故宮博物院」

2008年の北京オリンピックで水泳競技の会場となった「水立方」(北京国家水泳センター)



中国伝統文化を感じられるレストランや茶芸館も充実している

●北京5日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 北京	午前 午後	航空機 専用バス	空路、北京へ着後、故宮博物院見学 北京料理の夕食 (北京泊)
2	北京	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、北京郊外へ出発 八達嶺・万里の長城、明の十三陵、天安門広場見学 途中、田舎料理の昼食 広東料理の夕食 (北京泊)
3	北京	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、北京市内に研修 コース(専攻)別研修プログラム ・「産業」日系企業訪問・工場見学と日本人駐在員によるレクチャー ・「第二外国語」中国語授業体験 ・「音楽・美術・情報」実用職業学校にて文化交流 ・「体育」体育運動学校にてスポーツ交流 ・「福祉」福利院訪問 ・「自然科学」北京自然博物館研修 上海料理の昼食 選択別体験活動プログラム 中国語会話、太極拳・カンフー、京劇、書道、水墨画、餃子作り等 四川料理の夕食 (北京泊)
4	北京	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、2008年北京オリンピックのメイン会場となった「鳥の巣」見学 飲茶の昼食 北京市内散策(王府井を中心に) (日本語を学ぶ中国人大学生の案内による班別研修も可能) 北京ダックの夕食 雑技鑑賞 (北京泊)
5	北京 東京ほか	午前 午後	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、北京空港へ 空路、帰国の途へ

コースポイント
1日目と2日目に世界遺産をはじめとする歴史遺産を見学、4日目に「鳥の巣」見学や市内散策で北京の「いま」を体感。新旧北京の見どころが凝縮されたコース。さらに3日目にコース(専攻)別研修と体験活動を組み込むことで、単なる観光にとどまらない学習的要素の高いプログラムを実現。研修目的に合わせ、幅広いテーマのアレンジも可能だ。

上海コース

古くから港湾都市として海運流通が栄え、国際都市でもある上海は、日本との経済交流が最も活発な都市である。現在では、世界各国の企業が進出しており、街並みはビルがそびえ立つ大都会である。その姿が象徴するように、現代中国の凄まじいエネルギーを垣間見ることができる。

また、上海から車移動で約2時間の蘇州や杭州、南京などを含めた「江南地域」を周遊して、新旧の中国を対比した学習もできる。蘇州は庭園都市として知られ、世界遺産「蘇州古典園林」や寒山寺などの名所がある。杭州は国際的観光地の西湖があり、お茶やシルク等の伝統産業も盛んで、体験学習も可能。日本からは直行便が運航され、親日的な都市でもある。このほか、南京での平和学習なども意義がある。



おしゃれなレストランやバーが立ち並びエリア「新天地」

●上海4日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 上海	午前 午後	航空機 専用バス	空路、上海へ 着後、リニアモーターカーにて市内へ 上海市内見学 上海万博中国館(車窓)、ワールドフィナンシャルセンター 100階展望台等 広東料理の夕食 外灘地区の夜景観賞 (上海泊)
2	上海	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、上海市内見学 豫園、上海科学技術館、上海動物園(パンダ舎)、新天地等 途中、飲茶の昼食 上海料理の夕食 (上海泊)
3	上海	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、選択別体験活動プログラム 太極拳、書道、水墨画、切り絵、陶器、京劇画、餃子作り等 四川料理の昼食 現地校にて学校交流プログラム 北京料理の夕食 上海雑技団鑑賞 (上海泊)
4	上海 東京ほか	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、上海市内散策(南京路を中心に) 上海・浦東国際空港より空路、帰国の途へ

コースポイント 中国建国後から直轄市として中国経済を牽引し、国際的な商業都市として発展を遂げている上海を体感できる人気のコース。日本各地からの航空便も豊富で、見学・食事・体験等の素材が多様なことから、学校のニーズに合わせたプランニングが可能。研修ポイントがコンパクトにまとまっているので、短期間でも多彩なプログラムを組み込むことができる。

●上海・蘇州4日間

作成：日本旅行 大阪教育旅行支店

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	大阪(関空) 上海	午前 午後	航空機 専用バス	空路、上海へ 着後、リニアモーターカーにて市内へ 市内レストランにて昼食 上海市内見学 外灘地区散策、バンド観光トンネル、東方明珠タワー等 市内レストランにて夕食 (上海泊)
2	上海	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、市内周辺で選択体験学習 中国武術、太極拳、水餃子作り、文芸交流、ホームビジット、書道、中国語等 市内レストランにて昼食 豫園・豫園商場散策 魯迅公園見学 市内レストランにて夕食 上海雑技団鑑賞 (上海泊)
3	上海 蘇州	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、 蘇州市内見学／中国屈指の名園を生んだ庭園の街「蘇州」の街並みに触れる 寒山寺、虎丘、拙政園、蘇州シルク博物館等 途中、蘇州料理の昼食 上海市内に戻り、夕食 (上海泊)
4	上海 大阪(関空)	午前～午後 夕刻 夜	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、南京路班別自主研修 南京路は約5kmの上海のメインストリート。多くの人でにぎわう若者に人気のスポット 各自自由に昼食 上海・浦東国際空港から空路、帰国の途へ

コースポイント 都会的な上海の街並みと、歴史を感じさせる豫園や魯迅公園見学に加え、武術・料理・書道・ホームビジットなどの選択体験学習、上海雑技団鑑賞などを通して中国文化を学べるコース。3日目には、世界遺産にも登録されている名園「拙政園」や、日本と深い交流のある寒山寺などを訪れ、上海とは趣の異なる蘇州の街並みに触れる。



2010年上海万博会場跡地にそびえる「中国館」

特徴

- ①学習：上海では、建設が続く超高層ビル群、現代的な街並みや行き交う人に、活気と日本と差異のない中国を実感。科学技術館や美術館、水族館など大型見学施設も多彩。江南の各都市では、伝統文化や古い街並み、自然を体験。
- ②交流：交流実績のある学校が多い。研修目的に応じた学校選びが可能。
- ③自由研修：南京路や外灘、豫園など観光エリアでの自主研修。地下鉄の利用もできる。
- ④宿泊：どのホテルも大型団体には慣れており、会議・宴会施設も完備している。
- ⑤食事：上海料理に代表される江南料理はあっさりとし、素材も豊富で満足度が高い。
- ⑥受け入れ：教育レベルが非常に高く、上海など江南の各都市は歓迎の意を表している。

●上海・蘇州(西塘)5日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか	午前 午後	航空機 専用バス	空路、上海へ 着後、リニアモーターカーにて市内へ 上海市内見学 上海万博中国館(車窓)、ワールドフィナンシャルセンター 100階展望台等 広東料理の夕食 外灘地区の夜景観賞 (上海泊)
2	上海	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、上海市内見学 豫園、上海博物館、上海動物園(パンダ舎)、新天地等 途中、飲茶の昼食 上海料理の夕食 (上海泊)
3	上海	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、選択別体験活動プログラム 太極拳、書道、水墨画、切り絵、陶器、京劇画、餃子作り等 種料理の昼食 現地校にて学校交流プログラム (その他、上海交通大学のキャンパス・学校歴史館見学も可能) 北京料理の夕食後、上海雑技団鑑賞 (上海泊)
4	上海 蘇州 または西塘	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、 蘇州市内見学(拙政園、虎丘、寒山寺、蘇州博物館、忠王府等) または、西塘市内見学(映画「ミッション：インポッシブル3」のロケ地) 途中、江南料理の昼食 四川料理の夕食 (上海泊)
5	上海 東京ほか	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、上海市内散策(南京路を中心に) 上海・浦東国際空港から空路、帰国の途へ



上海の人気スポットのひとつ「豫園」

西安コース

西安は紀元前11世紀から12の王朝の都として栄えた都市であり、最盛期の8世紀(唐代)には、100万人以上の人口を抱える国際都市だった。世界遺産の秦の始皇帝陵と兵馬俑博物館の見学を通じて、歴史や文明について実感し、学ぶ機会が得られる。

また、シルクロードの起点として東西の文化が交わり、仏教文化が開花した都市でもあり、日本とは遣唐使の派遣による歴史的関係が深い。自国を見つめ直す機会ともなるだろう。

唐代の迎賓入場式の見学、名物の餃子作り体験、古典舞踊鑑賞などのほか、学校間交流では音楽や書画などの伝統文化を学習できる。北京との組み合わせによる2大古都の比較も貴重な体験だ。



唐代の文化を再現したテーマパーク「大唐芙蓉園」

●西安5日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京(成田) 西安	夕刻 深夜	航空機 専用バス	空路、西安へ(途中、中国国内経由または乗り継ぎ) 着後、ホテルへ 餃子料理の夕食 (西安泊)
2	西安	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、西安市内見学 大雁塔、城門、青龍寺、碑林博物館等 途中、麵料理の昼食 四川料理の夕食 (西安泊)
3	西安	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、西安郊外へ出発 兵馬俑博物館、秦の始皇帝陵、華清池等見学 途中、西安料理の昼食 北京料理の夕食 学校交流会の最終リハーサル (西安泊)
4	西安	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、現地校へ 現地校にて学校交流プログラム 広東料理の昼食 夕食は唐家宮にて(唐歌舞ディナーショー) (西安泊)
5	西安 東京(成田)	朝 午後	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、西安空港へ 空路、帰国の途へ(途中、中国国内経由または乗り継ぎ)

コースポイント かつて長安と呼ばれ、紀元前11世紀から約2000年もの間、中国歴代王朝の都として繁栄してきた西安は、秦の始皇帝、漢の武帝、楊貴妃等多くの歴史的英雄やヒロインが活躍したことや、世界的な交易路「シルクロード」の起点としても有名であり、悠久の歴史を体感できるのが魅力。学校交流を組み込むことで、より高い学習効果が期待できる。

●西安・北京4日間

作成：日本旅行 奈良教育旅行支店

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	大阪(関空) 西安	午前 夕刻	航空機 専用バス	空路、西安へ(途中、上海で乗り継ぎ) 着後、火鍋料理の夕食 大雁塔南広場、大唐不夜城、大唐芙蓉園(御苑門)のイルミネーション観賞 (西安泊)
2	西安	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、西安東郊外と市内見学へ 兵馬俑博物館(1・2・3号坑、銅車馬館)、秦の始皇帝陵、華清池、大雁塔、碑林博物館 途中、麵料理の昼食 西安名物・餃子宴の夕食 (西安泊)
3	西安 北京	午前	航空機 専用バス	ホテルにて朝食後、国内線で空路、北京へ 着後、北京市内見学 居庸関、八達嶺・万里の長城、書の街「琉璃廠」 途中、飲茶料理の昼食 北京ダックの夕食 (北京泊)
4	北京 大阪(関空)	午前 夕刻 夜	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、北京市内見学 天安門広場、故宮博物院、景山公園 市内レストランにて昼食 北京空港から空路、帰国の途へ

コースポイント 4日間の日程で、世界遺産を中心に、西安と北京という中国2大古都の貴重な歴史遺産を効率よくめぐることができるコース。食事に名物料理を取り入れることで、広大な中国ならではの食文化の違いも感じることができる。歴史や書芸などの専攻コースがある高等学校や専門学校のほか、大学の研修旅行としてもおすすめ。

空海が密教を学び、現在も日本の仏教界との交流拠点となっている「青龍寺」



本場西安の水餃子



特徴

- ①学習：世界遺産の秦の始皇帝陵と兵馬俑博物館をはじめ、市内には歴史的な学習素材が豊富。博物館も多く、価値の高い収蔵物が見学できる。
- ②交流：日本からの訪問校が少数のため、大いに歓迎される。
- ③宿泊：国際観光都市なので大型団体は得意なホテルが多い。
- ④食事：名物は、種類の豊富な西安餃子など。
- ⑤受け入れ：修学旅行団体の積極的な受け入れを表明している。

中国の古都であり、東西文化の交流路
シルクロードの起点都市で歴史を学ぶ

西安観光のメインスポット「兵馬俑博物館」



●北京・西安・上海6日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 北京	午前 午後	航空機 専用バス	空路、北京へ 着後、故宮博物院見学 北京ダックの夕食 2008年北京オリンピックのメイン会場となった「鳥の巢」のライトアップを見学 (北京泊)
2	北京 西安	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機 専用バス	ホテルにて朝食後、北京郊外へ出発 八達嶺・万里の長城、明の十三陵見学 田舎料理の昼食 北京空港から空路、西安へ 着後、西安料理の夕食 (西安泊)
3	西安	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、西安市内ならびに郊外へ出発 兵馬俑博物館、秦の始皇帝陵、華清池、大雁塔、城門見学 途中、郷土料理の昼食 夕食は唐家宮にて(唐歌舞ディナーショー) 学校交流会の最終リハーサル (西安泊)
4	西安 上海	午前～ 夕刻	専用バス 航空機 専用バス	ホテルにて朝食後、現地校へ 現地校にて学校交流プログラム 広東料理の昼食 西安空港から空路、上海へ 着後、四川料理の夕食 (上海泊)
5	上海	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、上海市内見学 豫園、上海科学技術館、ワールドフィナンシャルセンター100階展望台、新天地等 上海料理の夕食 上海雑技団鑑賞、外灘地区の夜景観賞 (上海泊)
6	上海 東京ほか	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、上海市内班別自主研修(南京路を中心に) 上海・浦東国際空港から空路、帰国の途へ

コースポイント 中国の政治・科学・文化の中心であり世界遺産などの観光資源も豊富な北京、中国歴代王朝の都として繁栄してきた西安、中国経済を牽引し国際的な商業都市として発展を遂げている上海、人気の3都市を効率的に回るゴールデンルート。日本から直行便の多い北京から入国、上海から出国することで、初日と最終日も現地での研修時間を確保できる。



海に囲まれ、
美しい海岸線
を持つ大連

大連は3面が海に囲まれているため海岸が長く、景色が美しく気候も温和。市街区の建築物は様式も多様で、夜景がすばらしく、避暑地としても人気の海浜観光都市だ。また、グローバル企業や日系企業が多く進出している経済先進エリアでもあり、中国の中でも親日的な街として知られている。ロシアや日本の租借地だった時代の建物が残る市街には、路面電車が走り、治安も良いので自主研修などのプログラムも組める。

青島は、赤いレンガ、緑の樹木、ヨーロッパ風の都市景観、紺碧の海、起伏する山並みがコントラストをなす海沿いの美しい都市。郊外にある道教の聖地・嶗山では、大自然が作り出した奇観を望むことができる。

どちらの都市も、企業訪問に適した一流企業が多く、学校交流などの受け入れにも協力的だ。

●大連・青島4日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 大連	午前 午後	航空機 専用バス	空路、大連へ 着後、大連市内見学 大連港、中山広場、人民広場、路面電車乗車体験、大連 鉄道局(旧満鉄本社)等 東北料理の夕食 (大連泊)
2	大連 旅順 大連	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、旅順へ出発 東鶏冠山、203高地、水師営会見所等見学 途中、旅順農家料理の昼食 大連市内に戻り、星海広場見学 大連海鮮料理の夕食 (大連泊)
3	大連 青島	午前 午後	航空機 専用バス	ホテルにて朝食後、大連空港から空路、青島へ 着後、地方料理の昼食 嶗山風景区見学 山東料理の夕食 (青島泊)
4	青島 東京ほか	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、青島市内見学 小魚山、棧橋、教会、五四広場等 青島空港から空路、帰国の途へ
コースポイント	遼東半島最南端に位置する中国北部の重要な港で、工業と観光の中心となっている大連、山東省最大の商業都市であり、異国情緒あふれる海洋観光都市でもある青島を効率良くめぐれるルート。大連では路面電車を利用したの自主研修、旅順では203高地などを見学する平和学習、青島では嶗山風景区で中国らしい自然に触れるなど、充実した研修ができる。			

●大連・青島5日間

作成：トップツアー 教育旅行事業部・中国室

日次	地名	現地時間	交通機関	コース内容
1	東京ほか 大連	午前 午後	航空機 専用バス	空路、大連へ 着後、大連市内見学 大連港、中山広場、人民広場、路面電車乗車体験、大連 鉄道局(旧満鉄本社)等 東北料理の夕食 (大連泊)
2	大連 旅順 大連	終日	専用バス	ホテルにて朝食後、旅順へ出発 東鶏冠山、203高地、水師営会見所等見学 途中、旅順農家料理の昼食 大連市内に戻り、星海広場見学 大連海鮮料理の夕食 (大連泊)
3	大連	午前 午後	専用バス	ホテルにて朝食後、大連企業視察 餃子料理の昼食 老虎灘公園、大連観光塔、天津街(駅前繁華街)など散策 四川料理の夕食 (大連泊)
4	大連 青島	午前 午後	航空機 専用バス	ホテルにて朝食後、大連空港から空路、青島へ 着後、地方料理の昼食 嶗山風景区見学 山東料理の夕食 (青島泊)
5	青島 東京ほか	午前 午後 夕刻	専用バス 航空機	ホテルにて朝食後、青島市内見学 小魚山、棧橋、教会、五四広場等 青島空港から空路、帰国の途へ
コースポイント	5日間の日程にすることで、大連の企業視察を組み込んだコース。研修目的に合わせて外資、日系とさまざまなアレンジができるほか、企業視察の代わりに学校交流を組み込むことも可能。ロシア風の建物が残る大連、ドイツ風の建物が残る青島とも、治安が良く親日的。他のエリアとは異なる中国の姿に触れられる、新しい研修先としておすすめ。			

大連・青島

コース

企業訪問、平和学習素材が豊富な
異国情緒あふれる海浜リゾート都市へ

特徴

- ①学習：大連では、日本の租借時代の建物や日露戦争の跡地を見学することで平和学習ができる。大連・青島とも、視察可能な大企業が多く存在する。
- ②交流：日本からの訪問校が少ないため、大いに歓迎される。
- ③宿泊：国際的な観光レジャー都市なので、大型団体は得意なホテルが多い。
- ④食事：名物は、海鮮料理、山東料理など。
- ⑤受け入れ：修学旅行団体の積極的な受け入れを表明している。

PICK UP!

青島テーマツアー

教育旅行の訪問先としてはまだなじみの薄い青島だが、バラエティーに富んだ研修テーマ設定が可能だ。観光局おすすめのツアーを紹介しよう。

●工業開発園ツアー

ハイアール工業園、コカ・コーラ飲料有限公司、双星グループ、青島ビールグループ、澳柯瑪グループ、華東ブドウ酒庄園などが集中している工業開発園。ここでは、その生産ラインや独特の企業文化、先進的な生産技術を見学することができる。現地で働く人たちの姿を目にし、話を聞くことは貴重な体験となるはずだ。

●農業エコ観光ツアー

青島市農業エコ観光園、石老人農業観光園、嶗山北宅核桃園、萊西産芝ダム、平度大沢山ブドウ園、十梅庵梅園などのエコ観光園では、農作物栽培、花木栽培、淡水魚養殖、希少動物の飼育等を学ぶことができる。園内にはレストランや見学・レジャー施設もあるので、半日研修や1日研修にも最適だ。

●観光リゾートツアー

石老人国家観光リゾート区、琅琊台省クラス観光リゾート区、薛家島省クラス観光リゾート区、田横島省クラス観光リゾート区、仰口観光リゾート村、即墨温泉リゾート村、嶗山臥竜リゾート村、平度秀水園リゾート村があり、マリンスポーツや海水浴、レクリエーション活動などができる。中国の観光産業や観光地の整備といった視点から、リゾート村の担当者から話を聞くことも有意義な研修となるだろう。

モデルコース提供旅行会社

【トップツアー 教育旅行事業部】

当社は特に団体旅行に強みを持っており、教育旅行に関しても、本社機能である教育旅行事業部が全国の支店を主導し連携しながら、最新情報、日程表、体験学習の企画書、企画書作成支援、営業支援をはじめ危機管理や品質管理まで行っています。

「広大な国土、大自然、悠久の歴史、豊かな文化、日々変貌する国家」である中国は、教育旅行に限らず重要なデスティネーションと考えています。

当社では全国の中国案件全般を専門に手配・運行する「中国室」と北京・上海にある「駐在員事務所」が、本社と連携し安全管理・品質管理に当たっています。また、中国の契約オペレーター3社とも「トップツアーオペレーター会」を組織し、中国または日本においてオペレーター会総会を開催し、中国旅行の品質向上、危機管理に向けての意見交換等を行いながら、相互の信頼関係を築いています。

今後も中国の魅力を感じていただける多彩な学習体験プランを提供し、学生の皆さんに貴重な体験をしていただけるよう、また安全な教育旅行のために、全社を挙げて取り組んでまいります。

【日本旅行 教育旅行部】

当社では、教育旅行の事前学習から現地での研修、帰国まで、安全第一を大前提として取り組ませていただいております。

中国については現在、技術・経済発展が著しく、滞在や現地校との交流もしやすくなっていると思います。そんななかで、特に学校交流のアレンジには自信があります。教育旅行で人気の都市では、各学校の研修目的に応じた交流校の手配・アレンジを行うことが可能です。北京と上海には、当社の現地法人旅行会社もあるため、万全を期して対応させていただきます。

企業訪問のほか、中国伝統文化・料理体験、班別自主研修など、体験学習プログラムも豊富に取りそろえています。ユニークな体験としては、現地の幼稚園を訪問して子供たちと一緒に遊んだり、一般の民家を訪問するプログラムも人気です。

中国には、世界遺産や悠久の歴史、学校交流、体験学習など、日本の学校が目的とする学習素材がそろっているため、多くの学校が訪問されることを期待しています。



中華人民共和国国家観光局

〔東京〕

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-2 エアチャイナビル8F
TEL: 03-3591-8686 FAX: 03-3591-6886

〔大阪〕

〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4F
TEL: 06-6635-3280 FAX: 06-6635-3281

URL <http://www.cnta.or.jp>